



国分寺市立公民館保育室活動 50周年記念事業

子どもを預けるということ ～仲間とともに自分も子も育つ～



保育室活動
50周年記念事業
実行委員会



保育室活動50周年記念誌 アウトライン

50周年記念事業

詳細は
次ページの目次へ

子どもを預けるということ

～仲間とともに自分も子も育つ～

P.3～57

ポスター展

「公民館保育室を知っていますか」

子どもあつまれ
おはなしフェスタ

P.58～61

新たな取り組み

公民館保育室体験会(プレ保育室)

P.62～63

広報活動 P.64～65

動画公開!
「公民館保育室を
知っていますか」

ホームページ新設!
「公民館保育室について」

Twitterでの
情報発信強化

目 次

I 国分寺市立公民館保育室活動50周年記念事業

1. 実行委員長あいさつ..... 3
2. 来賓から..... 4
3. 50周年記念事業について..... 6
4. 子どもを預けるということ ～仲間とともに自分も子ども育つ～ 8
 プログラム..... 8
 事例発表 ～本多・恋ヶ窪・光・もとまち・並木・保育者～ 9
 座談会 34
 講演会 42
 参加者の声(アンケートより) 52
5. ポスター展 公民館保育室を知っていますか 58

II 公民館保育室を知ってもらうための新たな取り組み

1. 公民館保育室体験会(プレ保育室) 62
2. 広報活動(動画・ホームページ・Twitter) 64

III 資料

1. 国分寺市立公民館保育室の50年..... 66
2. 五館保育・託児付き主催事業 ～本多・恋ヶ窪・光・もとまち・並木～ 69
3. 保育者賃金(予算)の推移 83
4. 保育室関係保存資料一覧(本多公民館所蔵) 84
5. 実行委員会の経過・参加者一覧 85

公民館の講座を受講したり
グループ活動をしたりしているあいだ…



子どもたちは
お友達と保育者と保育室で過ごします



グループ活動が活発になって、保育室へ預ける以外にも
クリスマス会をしたり家族みんなで企画をしたりすることも



I 国分寺市立公民館保育室活動 50周年記念事業

I. 実行委員長あいさつ

実行委員長 百瀬裕美

新型コロナウイルスの影響の中、公民館保育室50周年記念事業を開催できましたことを各館職員の方々、保育室に関わる全ての皆さまに心より感謝申し上げます。

1971年に始まったこの保育室活動は、幼い子のいる親たちの学ぶ機会を求める熱い想いにより始まりました。

そして、この50年の間、途切れることなく親、保育者、職員の三者がともに育ちあう場所として求められ、脈々と受け継がれてきました。子どもたちもまた三者によって考えられた丁寧な保育のもとで、仲間とともに楽しい時間を過ごします。

私もまたこの活動を経験してきた一人です。私事になりますが、私は現在5人の子がおります。上の子が生後6か月の時に兵庫県より国分寺市に越してまいりました。

育児への不安、孤立感が増し涙することもありましたが、市報で知った「幼い子のいる親のための教室」に参加をしたことで、仲間ができ子育てに前向きな気持ちになることができました。そして、14年間のグループ活動を終え、現在は保育者3年目となりました。

この公民館の継続した事業の中で仲間だけでなく、世代、地域をこえて多くの方と出会いました。子育てについてだけでなく、社会的環境、情勢、公民館保育室そのものを考え、また五館で集まり行政への陳情など、さまざまなテーマで話し合いました。

そこで共有した時間により関わった方々と信頼関係が芽生え、また、自分自身の育ちへとつながっていきました。今は保育者となり、初めてわが子を預ける親、そして初めて親以外の大人と接する子どもと互いに信頼関係を築きながら、ともに育ち合える関係をつくりたいと思っております。

「人は人との関わりの中で育つ」という保育室の理念のもと、一人ひとりの自信が育ち、家庭、そして地域、社会へとここで得たものを還元していけるのではないのでしょうか。

当日のポスターセッションでは幼い子のいる親たちが緊張の中、一生懸命に発表する言葉の中に「仲間と共感できる場」「学び・発見・気づきの場」「親の心身の安定が家族の安定に繋がる」「自分に戻れる場所」とありました。幼い子を育てながら、自分から学び成長していく姿に胸が熱くなる思いでした。

最近の子育てをめぐる環境が厳しさを増しつつある中、多様な母子への社会的支援が進められています。このように地域力をはぐくむ事業が国分寺市の公費によって支えられているということ、一人の市民としてありがたく思います。

コロナによりさらに人と人との関係性が薄れていく中、地域力の源となる公民館保育室活動が今後も継続していくことを心より願っております。

最後になりましたが、この50周年事業が新たな出会い、そして個々の学びへと繋がっていくことを祈念して、私のあいさつの言葉とさせていただきます。

2. 来賓から

教育長

保育室創設50周年に寄せて

教育長 古屋真宏

国分寺市立公民館保育室創立50周年、おめでとうございます。

国分寺市の公民館では、さまざまな事業や講座を開催しています。公民館の保育室は、昭和46年に開催した教育講座に参加した幼い子のいる親たちからの「私たちも学びたい」という強い要望から、誕生しました。

今では市内五館すべてに保育室があり、幼い子のいる親が各公民館の主催講座に参加し、その後グループ活動を引き続き行っています。自主活動を継続する中で、互いに学び合い、支え合う仲間関係を培っています。さらに、子どもたちも保育室で異年齢の仲間と過ごす中で、社会性を身につけています。

親と子がともに学び合う保育室活動がますます発展することを祈念して、お祝いのメッセージといたします。

公民館運営審議会

タテ・ヨコ・ナナメの人間関係づくり

公民館運営審議会 笹井宏益

国分寺市立公民館保育室が50年もの間、子どもたちをはじめ地域の人たちの関わり合いの場になってきたことを心よりうれしく思います。昔と比べて社会全体の利便性が高まってきているものの、反対に子どもを取り巻く人間関係はますます希薄になってきています。

公民館の保育室が、集い学び合う場として、タテ・ヨコ・ナナメの人間関係をつくり、子どもたちの豊かな成長に寄与してきたことは素晴らしいことです。こうした場では、子どものみならず大人も育ちます。公民館が、まさに共育の場として地域の人たちの交流の場となることを、期待してやみません。今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

これからの50年に向けて—環境変化を見通して—

公民館運営審議会 田中雅文

公民館保育室活動50周年、誠におめでとうございます。関係者の皆様のご努力に感謝するとともに、これからの50年に向けたエールを送らせていただきます。

母親の多くは職業に就き、子育てに勤しむ父親が増加している今日、公民館保育室に求められる役割は変わりつつあります。就業や学習における ICT 活用の普及、子育てにおける男女平等の進展など、保育室を取り巻く環境はこれからも大きく変容していくことでしょう。時代とともに刷新し、これからも公民館保育の最先端を走り続けることを期待します。

親と子が一緒に育ち合える保育室活動

公民館運営審議会 萩原勝彦

この度は公民館保育室活動50周年、誠におめでとうございます。

公民館における保育室でどのような活動が行われているか知りたく、今回の事業に参加し座談会にも加わり意見交換もさせていただきました。

50年間という歳月の流れの中で、様変わりしていく時代にあわせて、現代は、核家族・少子化・地域住民同士の関わり(昼間家にいる家庭が少ない)の希薄等になり、地域での情報交換の場も少なくなり、子どもを育てる環境が困難になってきており、昨今では、母親の育児が孤独になり、ときには悲しい状況に至るケースを聞く中で、公民館の保育室活動に参加することにより、保育担当者に子どもを預け親同士が情報交換し、心にゆとりを持って育児ができるようになったり、親たち同士が自ら育つために活動テーマを決め活動し、仲間に刺激を受け新たな趣味(特技)を習得したり、公的資格取得にチャレンジしたりする活動があることを改めて知りました。

グループ活動で親と子どもと一緒に育ち合えるこの保育室活動の事業を行えるのが、公民館だからこそ故にできるのではないかと思います。強く持ちました。

今後ますます少子化・地域住民同士の希薄化が進んで行くと思われます。経費・定員等さまざまな制約などがあると思いますが、この保育室の活動を多くの方々に知っていただき保育室活動に参加してもらい心身を豊かにし、より良い子育てと学びの場の充実ができる環境を広げていただければと思います。

3. 50周年記念事業について

令和3(2021)年度、公民館保育室活動が始まって50周年を迎え、
2つの記念事業「子どもを預けるということ～仲間とともに自分も子育て～」
「ポスター展 公民館保育室を知っていますか」の開催と、
本誌(記念誌)の作成を行いました。

<記念事業のポスター>

保育室活動 50 周年記念事業実行委員会 国分寺市立公民館 共催

 **公民館保育室活動 50 周年記念事業**
子どもを預けるということ
～仲間とともに自分も子育て～

国分寺市公民館保育室は、活動を開始して令和3(2021)年で50周年を迎えました。
この機会に、今まで参加している方も新たに参加したい方も、これまでの歩みを知り、
これからの保育室活動を一緒に考えましょう。

12月4日(土)
午後1時～3時30分

 事例発表  座談会  講演会

活動内容、保育室活動を通じた自分の気持ちや子どもの変化、子どもとのかかわりについてなどを聞き合い、子どもを預けるということが、意識や行動へどのように影響しているのか紐解きます。

場 所 本多公民館
講 師 山澤和子さん(生涯学習デザイナー)
定 員 60人
申込方法 11月16日(火)午前9時から
電話または直接本多公民館へ(先着順)
注意事項 お子さん連れの方は、
申込時にご相談ください

新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加の際はマスクの着用や手指消毒などをお願いしております。ご理解・ご協力をお願いします。

【問い合わせ】本多公民館
042-321-0085

これまでの保育室活動の歴史を振り返ると同時に、
今後について考える機会となりました。

事業の様子や参加者の声を紹介していきます。



国分寺市立公民館保育室50周年記念事業ポスター展 公民館保育室を知っていますか

共催 保育室活動50周年記念事業実行委員会
国分寺市立公民館

保育室を利用しながら活動を続けているグループが、活動の様子や、活動を通じて感じている自分たちの気持ちや子どもの変化、家族の思いなどをポスターにして紹介します。

展示期間

日時 ①11月12日(金)～11月21日(日)
②11月22日(月)～12月4日(土)

場所 ①セレオ国分寺9階 ②本多公民館

※後日、各公民館で展示します

11月
13日(土)
14日(日)
セレオ国分寺9階

定員
各回15人

子どもあつまれ おはなしフェスタ

おはなし会は子どもと本、そしてことばの出会いの場です。
市内の児童館や図書館などで活動しているグループによる
絵本や紙芝居、わらべうたなど、一緒に楽しみましょう。

◆13日(土)◆

- | | |
|---------------|---------------------|
| ① 13:00～13:20 | 《参加グループ》
絵本お楽しみ会 |
| ② 13:40～14:00 | おはなしの会 |
| ③ 14:20～14:40 | はらっぱ文庫 |
| ④ 15:00～15:20 | ウシバスおはなし会+ |

◆14日(日)◆

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 13:00～13:20 | おはなしポケット |
| ② 13:40～14:00 | おはなしのくにピッピ |
| ③ 14:20～14:40 | おはなしの会 でんでんだいこ |
| ④ 15:00～15:20 | 東元町文庫 |

協力 国分寺おはなし・文庫連絡会

※当日12時30分から、会場にて各回の整理券を
配布します。(入れ替え制)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加の際はマスクの着用や手指消毒などを
お願いしております。ご理解・ご協力をお願いします。

【問い合わせ】本多公民館 ☎042-321-0085

4. 子どもを預けるということ

～仲間とともに自分も子ども育つ～

活動内容、保育室活動を通じた自分の気持ちや子どもの変化、子どもとのかかわりについてなどを聞き合い、子どもを預けるということが、意識や行動へどのように影響しているのかひも解きます。

<プログラム>

開催日 | 令和 3(2021)年 12 月 4 日(土)

司 会 | 秋葉ひとみ(もとまち公民館学習者)



多くの人に伝え合う

預ける側(保育グループ)と預かる側(保育者)の
双方が保育室活動で気づいたことを出し合う

<P. 9~33>



それぞれの想いを語り合う

これまでに活動してきた人、いま活動している人、
保育室について知りたい人…
地域ごとの7グループにわかれて、想いを共有

<P. 34~41>



みんなで学び合う

保育室活動の経験が、意識や行動へ
どのように影響していくのかを知る

講師 | 山澤和子さん(生涯学習デザイナー)

<P. 42~51>

事例発表 — 多くの人に伝え合う

預ける側（保育グループ）と預かる側（保育者）の双方が
保育室活動で気づいたことを出し合う

保育グループと保育者は、
事前にそれぞれの取り組みなどを
ポスターにし、それをもとに発表しました。

また、開会前には、自由にポスターを見て、
発表者へ直接質問したり、交流したりできる
時間を設けました。



<内容>

- ▶ 保育グループ
 - ① グループ活動の内容
 - ② 保育室に通う子どもの変化
 - ③ 講座、グループ活動に参加している
自分の気持ちの変化
 - ④ 親の思い、夫からの妻の変化について
- ▶ 保育者 ～子どもを預かる立場から
 - ① 地域の子育てへの支援
 - ② 保育の現場で
 - ③ 50年保育室が求められる理由
 - ④ 時代とともに
 - ⑤ 保育室の2時間



<発表者>

- ▶ 上角 綾さん（本多公民館学習者）
- ▶ 井上雅子さん（恋ヶ窪公民館職員）
- ▶ 伊藤法子さん（光公民館学習者）
- ▶ 加藤奈央子さん・長谷部聡美さん
（もとまち公民館学習者）
- ▶ 永積文子さん（並木公民館学習者）
- ▶ 平田京子さん（本多公民館保育者）

次のページ ▶▶ 保育グループ・保育者作成のポスター

本多公民館

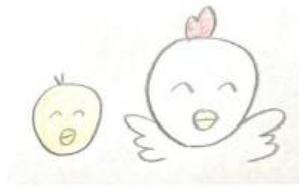
①グループ活動の内容

②保育室に通う子どもの変化

③講座、グループ活動に参加している自分の気持ちの変化

④親の思い、夫からの妻の変化について

いろどり



①母としての自分たちはもちろん、妻として、女性としてなど、ひとりの人間としての自分に立ち戻ることを大切に活動しています。

☆活動例：育児の相談、情報交換、瞑想、ヨガ、子どもと遊べる工作やバスボム作り

②母子分離へ徐々に慣れ、保育士さんや他の子どもたちとの信頼関係ができたことで保育室を楽しめるようになりました。

初めて集団生活の中に入り家族以外の人たちと関わることで、友達という意識がうまれたり、引っ込み思案な傾向が変化したり、言葉への興味に良い影響を受けたり、それぞれ成長しています。本人も自分に自信がついた様子です。

また、親以外の大人から自分のことを認めてもらう、たくさん言葉をかけてもらう、という経験が子どもの情緒安定に繋がったと感じます。

③同じ時代に子育てをしている仲間と話すことで少し肩の力を抜いて子育てに向き合うことができるようになりました。

また、公民館で活動することで地域の活動がより身近になり、子育ては周りの方々に支えられているのだという感謝と、自分も地域の子どもたちを見守っていきたいという気持ちがありました。

④「ポジティブになった。いい意味で完璧主義じゃなくなった。」「楽しく活動をしているのが伝わる。良い仲間ができたと思う。」「本来得意ではないことも刺激や鍛錬になっている様子が伺える。」といった変化を家族が感じているようです。

わたしたちは、子どもが他者と楽しく関わりを持てるようになり感謝しています。

今後もこの活動を親子共に大切にしたいと思っています。



パプリカ

1

- 子育てに関する情報交換
仕事と家事の両立について
パパの育児や家事負担について
子供の叱り方
小児科、病院情報交換
幼稚園選び
習い事について
やめ家事について
時短レシピ など
- ヨガ&瞑想による自己メンテナンス
- バスボム作り

こんなことやっています

2

初めは母と離れることに泣いていた子供たちが、次第に保育室へ行くことを楽しみにするようになった。

自ら進んで同じ年のお友達と一緒に遊ぶようになり、年下の子の面倒もよくみるようになった。

保育室が楽しみ、「トランポリンの先生のところに遊びに行きたい♪」と言う。

子供にとって保育室は、家庭以外の『所属場所』であるように感じる。保育室に通うようになり、抱っこを離れて周囲のものに興味を持つようになった。

定期的に同じお友達、保育室の方と会える貴重な場所、子供同士や家族以外の大人との関わりを学べる場であるように感じる。

保育室での母子分離に慣れたおかげで、幼稚園生活へスムーズに溶け込めた。

保育室は、家庭以外の「子どもの居場所」です

3

同世代の子供を持つメンバーと家事育児に関する情報を共有できる。

子供の未来に向けての話がとても刺激的である。

公民館活動を通して、メンバーと何でも話せる家族のような存在になった。

子供と離れ、一人の人間としてリフレッシュできる。

子育てをしていると自分の意見を発信する場や機会が少なくなる。公民館活動は自分の意見を発信する場所である。

多種多様なバックグラウンドを持つメンバーと話すことで、新たな視点を持つことができ、良い刺激になる。

リフレッシュができて、刺激になる日々の活力となり、新たなチャレンジの源泉です

4

公民活動を通して地域とのつながりを感じる。地域の人とつながりができることはとても心強い。

困った時に相談する場所がある、という安心感がある。

保育をお願いしながら同じ地域に暮らすメンバーと活動ができること、夫婦共々、国分寺で子育てができてよかったと思う。

家庭だけでなく地域が子育てに関わりサポートしてもらえることを、夫婦ともにありがたいと感じる。

安心して子育てができて、心強い



レインボー



私たちは、2020年度『幼い子のいる親のための教室』に参加しました。

講座のテーマは「親と子がともに育ち合う」

講師の先生は、家族カウンセラーの柿澤一二美さんでした。

2021年度からは、新たなグループとして活動をしています。

- ①
 - ・講座では、テーマに沿った話し合いをする中で、自分自身、家族、育児の悩みなど、将来について深く考える事ができました。今後の活動でも、相談しあったり情報共有をしながら、一緒に育児を楽しんでいきたいと考えています。
 - ・子どもの事で頭がいっぱいの中、自分の事、子どもの事、夫の事を改めて考える時間がとれて充実した講座でした。
- ②
 - ・初めは母親と離れたたくなく泣いていましたが、同年代の友達が出来て、公民館に通うのが毎週の楽しみになりました。
 - ・初めての集団保育でみんなの真似をしながら覚えてくることが多くあり、出来る事が増え成長がみられ、毎回楽しそうに通っていました。
 - ・同じくらいのお友達との関わり方が変わり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知ったように感じました。
 - ・集団で過ごす楽しさを知り、子どもたちの遊びの幅が広がりました。
- ③
 - ・話し合える仲間に出会い、相談をしあったり気持ちを共有できて安心しました。
 - ・コロナ禍で行く場所が限られる中、地域の情報交換が出来て助かりました。
 - ・コロナ禍での育児で孤独を感じ、家族以外と(ゆっくり)話をする機会がなかった自分にとって、子どもを預けて自分の事を話したりゆっくり考えたりする事は、すごくストレス解消になり精神安定剤のような時間でした。
 - ・子どもや夫、自分についてもダメなところばかり気がついてしまってネガティブな気分が多かったですが良いところにも気がついたり同世代のママさんと深い繋がりで話せる事で気持ちの安定に繋がったように感じました。
 - ・安心して子どもを預けられ、自分や家族について振り返る時間が持てた事で充実した日々を過ごせるようになりました。
- ④
 - ・母子共に充実した時間を過ごせるようになり、講座の後は表情が和らいでストレス発散になっている事が家族にも伝わっていました。母親が心身共に元気でいる事の大切さも実感しました。
 - ・気軽に会え、話せる友達が身近に出来たことを夫も嬉しく思っています。
 - ・保育室に通う中で子どもの成長が見られ、地域で一緒に遊ぶ友達が出来た事が嬉しかったです。
 - ・子どもにとっても自分にとってもかけがえない出会いの場となりました。
 - ・今後も国分寺で子育てする母親を支援する場として、是非保育室を継続して欲しいです。

安心して子どもたちを預けられる場があり
子どもたちにも社会との繋がりが出来て、
国分寺に住んで良かったと実感しています。
いつもありがとうございます。

はちみつ

①

はちみつグループは今年度よりグループ化され「時短レシピと子育て」

をテーマにした回では、栄養士の方に考案された献立メニューや時短レシピを紹介してもらい、日々の忙しい育児の中で時短レシピは家事の負担の軽減にもなりました。

また助産師さんをお迎え、家庭での夫婦のあり方、あらゆる場面での子供との対処法などを話し合う機会を作りました。

②

幼稚園入園にむけ母子分離ができないことに悩んでおり、保育室の利用に不安があったが、初めは泣いていた我が子も「楽しい」「また行きたい」というほどになりました。

また片付けも率先してするようになり、自主性が高まったように見受けられ、これも保育の働き掛けのお陰だと感じます。

今はコロナ渦で子供同士の関わりも少なく、遊びや行動にも制限がある中でこういった保育室の利用は子供の成長を感じられる機会にもなり、本人にとっても貴重な体験になったと思います。

③

同じ市内に住むものどうし、地域の子育ての情報交換を行い、子供が育っていく中でどんな環境が必要か考えることができました。

子供と離れ同じ母親同士と関わり悩みを相談したりすることで、日々の育児ストレスも緩和できたと思います。気持ちに少し余裕ができることで育児を楽しむこともできました。

④

国分寺市でこうした活動があることを国分寺の子育て広場で知り、実際の保育室利用は子供の成長にもつながったこと、母親も様々な情報交換や悩みを話すことでストレスの解消や、育児に対してのモチベーションを高めることができました。

このような地域の支援は、子供も成長もできるだけでなく、母親も子育ての中で少しでもゆとりができ、子育てを楽しいと思え、喜びを持つことができます。このような活動がより多くの母親に認知されて行けば、育児における心労の軽減に加え、将来的に見て地域少子化の歯止めにも繋がるのではないかと感じました。

志達公民館保育グループ

① 活動の内容

【講師を招いての講座（公民館との共催事業など含む）】

- ・性教育について
- ・子どもとのかかわり方
- ・子どもの発達と脳の関係
- ・子どもの栄養や時短料理について
- ・入園グッズの製作

【公民館祭】

- ・スライム作りのブース

【保育グループのクリスマス会】

- ・パネルシアターを披露
- ・みんなで歌おう（合唱）

【子育てや地域の情報交換】



② 子どもの変化

- ・生後6か月くらいから保育室に通っています。始めは入室から泣いていましたが、月齢とともにお友達とも関わり、機嫌良く遊ぶようになりました。
- ・泣いている時間がどんどん減って、親から離れて過ごすことに慣れ、保育室を楽しみにするようになった。
- ・自分より小さい子の面倒を見る姿が見られた。
- ・トイレを見せてもらってトイレトレーニングのきっかけになった。

- ・最初は泣いていましたが、段々泣くこともなく、楽しみに行くようになりました。保育室に行くことがよい練習になったようで、幼稚園でのプレ保育にも最初から泣くことなく、楽しそうに通うことができました。
- ・講座中は姉妹で保育室にお世話になりました。年子のため、ライバル的存在のようにママやオモチャを取り合う場面が多かった姉妹ですが、保育室では妹が泣いたら慰めてあげたり一緒に遊んだり、助け合っていたことを保育者さんに聞いて、思っている以上に子どもはたくましく成長しているんだなと感じました。

③ 講座・グループ活動に参加して自分の気持ちの変化

- ・娘と向き合っていると、これでいいのかな？不安、疑問、自己嫌悪等の気持ちが出て来て、自信がなくなったり、落ち込むところを、講座の中で同じ子育てしている仲間と共感し合えたり、自分の思いを聞いてもらえるだけで、気持ちの切り替え、リフレッシュ、また新たに頑張ろうという気力がでて、講座後は毎週清々しい気持ちで帰宅し、娘とも向き合えることができました。
- ・子どもと離れて自分の時間を過ごすことが初めてで泣き声が聞こえて心配だったが、離れる時に泣かなくなってきてお互い慣れることができた。保育者さんからすぐに泣き止み楽しく過ごしていることを教えてもらえるので、安心して預けることはできた。
- ・国分寺市周辺の情報を得られ、国分寺市の良さに気づけた、また行動範囲が広がった。
- ・定期的に行く場所ができたことで生活にメリハリができた。
- ・国分寺市に越してきて間もない頃だったので知り合いができて心強かった。活動を続ける中でだんだんうちとけて、気軽に相談できるようになった。
- ・親になるとどうしても子どもの所属するクラスや子どもを通したつながりばかりなので自分のグループがあるということがうれしいです。
- ・講座の企画に積極的に参加することで自分たちの興味のあることを学ばせてもらえるありがたい機会だと感じています。公民館祭やクリスマス会を通して地域のみなさんと一体になって子育てをできることが安心にも繋がっています。



④ 親の想い、夫からの妻の変化について

- ・講座は話し合うことを通して新しい知識を得ることで夫と話すことが増えた。
- ・地元の情報を仕入れてくるのを夫は喜んでいました。
- ・子どもと離れる時間があることで、気晴らしになっているようで、子どもや家族に優しくなったように思う。
- ・夫からみて子どもが同世代のお友達との関わりによって刺激されて、おしゃべりが上手になったり大きな成長が見られて良かったです。また、妻にとって地域の知り合いができて、相談し合えることが子育ての面でプラスになっていると感じます。

保育グループ

あさがお 恋ママ NAP ミモザ



恋ママ公民館保育グループ

① 活動の内容

講師を招いての講座
(公民館との共済事業など含む)

- ・性教育について
- ・子供と関わりかた
- ・子どもの発達と脳の関係
- ・子どもの栄養や時短料理について
- ・入園グッズの製作

公民館祭

- ・スライム作りのブース

保育グループの
クリスマス会

- ・パナルシアターを披露
- ・みんなで歌おう(合唱)

子育てや地域の情報交換

② 子どもの変化

講座中は姉妹で保育室にお世話になりました。年子の為、ライバル的存在のようにママやオモチャを奪い合う場面が多かった姉妹ですが、保育室では妹が知らないなら黙ってあげたり一緒に遊んだりと、助け合っていたことを保育者さんに聞いて、思っている以上に子どもはたくましく成長しているんだと感じました。

生後6か月くらいから保育室に通っていますが、始めは入室から泣いていましたが、月齢と共にお友達とも関わり、機嫌良く遊ぶようになりました。

自分より小さい子の面倒を見る姿が見られた。

最初は泣いていましたが、段々泣く事もなく、楽しみに行くようになりました。保育室に行く事がよい事になったようで、幼稚園でのプレ保育にも最初から泣く事なく、楽しそうに通うことができました。

トイレを見せてもらってトイレトレーニングのきっかけになった。

泣いている時間がどんどん減って、親から離れて過ごすことに慣れ、保育室を楽しみにするようになった。

③ 講座・グループ活動に参加している自分の気持ちの変化

国分寺に越してきて居ない頃だったので知り合いができて心強かった。活動を続けるなかでだんだんうちとけて、気軽に相談できるようになった。

定期的に行く場所ができたことで生活にメリハリができた。

親になるとどうしても子供の所属するクラスや子どもを運んだつながらはかりなので自分のグループがあるということが嬉しいです。

子どもと離れて自分の時間を過ごすことが初めてで泣き声が聞こえて心配だったが、離れる時に泣かなくなってきた。お話しを聞いて泣き止み楽しく過ごしていることを教えてもらったので、安心して離れることができました。

娘と向き合っていると、これいいのか？不安、疑問、自己嫌悪等の気持ちが出て来て、自信がなくなったり、落ち込む所を、講座の中で同じ子育てしている仲間と共感し合ったり、自分の思いを聞いてもらえるだけで、気持ちの切り替え、リフレッシュ、また新たに頑張ろうという気がでて、講座後は毎週清々しい気持ちで帰宅し、娘とも向き合えることができました。

講座の企画に積極的に参加することで自分達の興味のあることを学ばせてもらえる有難い機会だと感じています。公民館祭やクリスマス会を運して地域とみなさんと一体になって子育てをできることが安心にも繋がっています。

国分寺周辺の情報を得られ、国分寺の良さに気付けた、また行動範囲が広がった。

④ 親の想い、夫からの妻の変化について

夫からみて子供が同世代のお友達との関わりによって刺激されて、おしゃべりが上手になったり大きな成長が見られて良かったです。また、要によって地域の知り合いができて、相談し合えることが子育ての面でプラスになっていると感じます。

子どもと離れる時間があることで、気持ちよくなっていて、子どもや家族に優しくなったように思う。

講座は話し合うことを通して新しい知識を得ることで夫と話すことが増えた。

地域の情報を仕入れてくれるのを夫は喜んでいました。

保育グループ

あさがお 恋ママ NAP ミモザ

光公民館

2019年度の「幼い子のいる親のための教室」を経て、12月から自主活動グループ「ボレロ」へ。

この身近な地域でとっても心強く、楽しいママたちに出会えました！子どもを保育室に預け、成長を感じながら、親は先生とメンバーと自分のことを振り返り、これからの歩みに生かすことを学びました。



メンバーのお産の話「ボレロの曲の盛り上がりに合わせて子を産もうとした」から生まれたネーミング。苦しいことがあってもテンションあげて頑張ろう！という意味にした。

ボレロの曲は、ひとつのメロディーをそれぞれ個性ある楽器がさまざまな表情となって奏でていく曲。このグループも親と子、みんなごちゃまぜの個性がなくてはならない存在でありながら、ゆるくりリラックスしながら、子育てを通して楽しく活動していきたいです。

講座や自主保育グループに参加した
「自分」が感じた気持ちの変化

- みかん**
- ・悩みを共有できる仲間がいることで、ストレスを抱えすぎることが減り、子育てに対する気持ちが楽になった。
 - ・子どもと離れるのは無理だと思っていたが、保育室で楽しんでいる子どもを見て、日常生活でも少し離れたところで見守れるかも…と思った。
- らふらふ**
- ・ママ友が居らず、子どもと二人きりの生活に孤独を感じていたが、受講中は家以外の活動の場が増え、保育グループ移行後はメンバーとの交友が深まった。活動の楽しさと顔馴染みに会える喜びが、心の支えになった。
- りふっと**
- ・講座の冒頭で「Good&New」という最近よかったことをシェアする時間があり、自分の気持ちを上げ、整理することができてとてもよかった。
 - ・子どもに飲み物をこぼされた等もうまくいかない時も、感情的にならずに「ちよとよい」と思うことができるようになり、子育てのイライラが軽減した。

保育室を利用するようになって見られた
「子ども」の変化

- みかん**
- ・ママと離れるとずっと泣いていた子が、泣かずに離れられるようになり、「たのしかったー」と言って帰ってくるようになった。
 - ・幼稚園にスムーズに入ることができた。保育室に通ったことで、パパママ以外にも頼れる大人がいることがわかっていただけなのか、人見知りせず先生たちと関わることができた。
- らふらふ**
- ・就園前に親から離れる練習になった。また、保育室に通っていたことで幼稚園にスムーズに入っていた。
 - ・保育グループの友達ができていたので、第二子が生まれたときにたくさん友達がいて遊んでもらえた。
- りふっと**
- ・コロナ禍で知り合いもいなかったので、講座に参加して仲間ができて本当に嬉しかった。
 - ・初めての母子分離で子どもは大泣き、保育室ではずっと抱っこされていたが、保育4回目頃には友達と遊ぶ様子があり成長を感じた。

みかん

・家族ぐるみで接することが多いグループなので、夫婦共通の会話が増えた。

らふらふ

- ・パパも一緒に、イベント等の活動ができた。
- ・パパ同士の交流ができた。

りふっと

- ・母親である自分が満たされないと子どもにも愛情を全力で注げないことに気づいた。夫にして欲しいことがあっても、言わずに勝手にイライラすることが多かったが、きちんと伝えることで時には劣い言葉をもらい、心に少し余裕を持つことができた。

講座や自主保育グループに参加したことによる
「夫」との関係の変化

保育室のおかげで私たちは「母」ではない「自分」に戻る時間を持ち、大切な時間を共有しています。そして子どもたちは保育室という小さな社会で学び、成長しています。

現在光公民館には活動6年目の「みかん」、3年目の「らふらふ」、1年目の「りふっと」があります。どのグループもこの感謝の気持ちを念頭に活動しており、「幼い子のいる親のための教室」や「公民館の保育室」の存在を知ってもらうため、積極的に住民自主講座を企画し、実施しています。

これからも、たくさんの方に知っていただけることを願っています。



みかん



らふらふ



りふっと

これまでの活動で特徴的なもの

「週1テーマ写真」

スマートフォンアプリ(LINE)を使い、週に1回、メンバーが交代でお題を設定し、それに沿った写真を投稿して交流しました。会えずとも心を通わせることで孤独感が一瞬でも和らぎ、なにより「子どもたちがかわいい!」と盛り上がり、2020年4月から9月の間に19回行いました。

ボロの1まい

とびっきりの時間

とびっきりの瞬間を

毎週1枚写真で共有して、コロナで大変な

時も交流しあいました♪

しゃしん



1まいしゃしん

こんなこと
してました!

•みんねとおえかき

•ははとこどもたち

•おいしいおが

•103までお気に入りの絵本 etc.

ボロの1まい しゃしん!



HALLOWEEN

みんねで思... 思いのコスチュームで

集まって、ゲームしたり、どんぐりひろい

まわって、お菓子のくじもひいて...

秋のピクニックもたのびました♡

2020 XMAS

集会ホールにあつまって、紙しばい。

工作、缶バッチ作りで楽し

クリスマスも楽しみました!

サンタさんもあそびに来てくれました!

～動画での活動紹介～

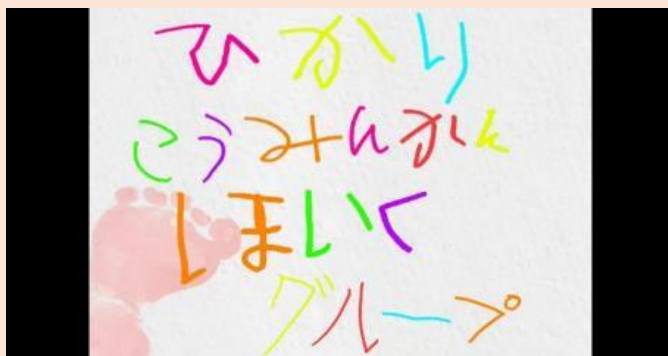
光公民館まつりの代わりに行われた「光ウィーク」の際、保育室利用グループ「みかん」と「らふらふ」の代表者が「幼い子のいる親のための教室」と「保育室利用グループ活動」の紹介動画を作成しました。

その動画を記念事業の前後に上映し、講師である山澤和子先生をはじめ、たくさんの方に見ていただき、お褒めの言葉をいただきました。



作:宮鍋 緑さん(みかん)

～動画の一部～



作:宮川恵未さん(らふらふ)

もとまち公民館

ナンバーズ

✿活動の内容✿

子育てに関する情報交換、悩み相談。幼稚園、保育園に関する情報交換。リフレッシュ(ヨガ、映画鑑賞など)。子どもに関する制作(手形・足形アート・手芸など)

✿子どもの変化✿

保育室利用1年目は泣いてばかりでしたが、2年目からは保育者さんや一緒に通うお友達のことを覚えたようで楽しく通えるようになりました。親以外にも信頼できる大人がいること、親と数時間離れても必ず戻ってきてくれることを知り、幼稚園への入園がスムーズに進みました。

家族の想い

子どもとずっと一緒だと、時には息が詰まることもあります。子どもを預けて「私の時間」を持つことで、自分の気持ちがりセットでき、子どもをよりかわいと思えるようになりました。子どもが保育室を楽しんでいる様子を知り、夫や姉も「今日は保育室どうだった？」と興味を持って、聞いてくれるようになりました。

活動内容

- ・子育てに関する情報交換・悩み相談
- ・幼稚園・保育園に関する情報交換
- ・地域に関する情報交換
- ・リフレッシュ(ヨガ、映画鑑賞など)
- ・子どもに関わる制作(手形・足形アート・手芸など)

自分の気持ちの変化

気持ちが折れそうな時、「十分頑張ってるよ」と言ってもらえてすごく気持ちが楽になりました。同じ境遇のママ達に「からこそ共感できることも多いんだ」と思います。

子どもの変化

保育室利用1年目は泣いてばかりでしたが、2年目からは保育者さんや一緒に通うお友達のことを覚えたようで楽しく通えるようになりました。親以外にも信頼できる大人がいること、親と数時間離れても必ず戻ってきてくれることを知り、幼稚園への入園がスムーズに進みました。

✿家族の想い✿

子どもとずっと一緒だと、時には息が詰まることもあります。子どもを預けて「私の時間」を持つことで、自分の気持ちがりセットでき、子どもをよりかわいと思えるようになりました。子どもが保育室を楽しんでいる様子を知り、夫や姉も「今日は保育室どうだった？」と興味を持って、聞いてくれるようになりました。

✿自分の気持ちの変化✿

気持ちが折れそうな時、「十分頑張ってるよ」と言ってもらえてすごく気持ちが楽になりました。同じ境遇のママたちだからこそ共感できることも多いんだと思います。



リ - フ

2017年「幼い子のいる親のための教室」のメンバーで結成されたグループです。
 皆の癒しである“お茶”がグループの名前の由来です。



保育室ではおともだちと
 ブロックやおもちゃでた
 のしく遊んでいます

秋のふれあいまつりでは、他のグループの方たちと「おかしつり」のコーナーを担当しました

ペーパーナフキンで
 デコパージュしました

2017年「幼い子のいる親のための教室」のメンバーで結成されたグループです。

秋のふれあいまつりでは、他のグループの方たちと「おかしつり」のコーナーを担当しました。

ペーパーナフキンでデコパージュしました。

保育室では、おともだちと、ブロックやおもちゃでたのしく遊んでいます。

公民館の実習室で「スマイルクッキー」を焼きました！

おしゃべりしながら作った折り紙（いもむしはくねくね動きます）

子どもと離れて落ち着いて深く考えたり話したりできる場

実習室で調理したあと、保育室からもどってきた子どもたちとみんなでランチをしました。

公民館の実習室で「スマイルクッキー」を焼きました

皆の癒しである“お茶”がグループの名前の由来です。

もとまち

実習室で調理したあと、保育室からもどってきた子どもたちとみんなでランチをしました

子どもと離れて落ち着いて深く考えたり話したりできる場

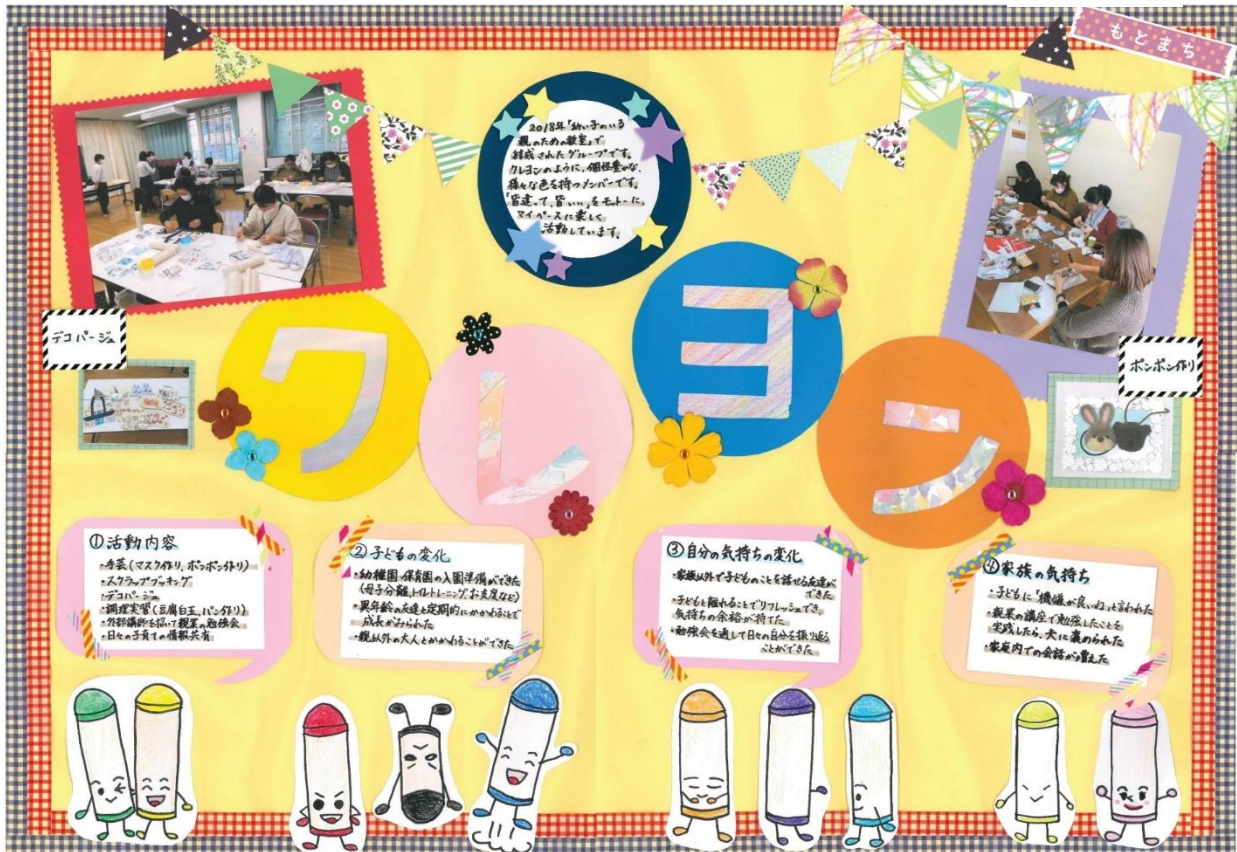
おしゃべりしながら作った折り紙（いもむしはくねくね動きます）

公民館の実習室で「スマイルクッキー」を焼きました



クレヨン

2018年「幼い子のいる親のための教室」で結成されたグループです。クレヨンのように、個性豊かなさまざまな色を持つメンバーです。「皆違って、皆いい」をモットーにマイペースに楽しく活動しています。



☆活動内容☆

- 手芸(マスク作り、ポンポン作り)
- スクラップブック作り
- デコパージュ
- 調理実習(豆腐白玉、パン作り)
- 外部講師を招いて親業の勉強会
- 日々の子育ての情報共有

☆子どもの変化☆

- 幼稚園、保育園の入園準備ができた(母子分離、トイレトレーニング、御支度など)
- 異年齢の友達と定期的にかかわることで成長がみられた
- 親以外の大人とかかわることができた。

☆自分の気持ちの変化☆

- 家族以外で子どものことを話せる友達ができた。
- 子どもと離れることでリフレッシュでき、気持ちの余裕が持てた。
- 勉強会を通して日々の自分を振り返ることができた。

☆家族の気持ち☆

- 子どもに「機嫌が良いね」と言われた。
- 親業の講座で勉強したことを実践したら、夫に褒められた。
- 家庭内での会話が増えた。

ともしゃんこ

2020年度の幼い子から。今年度より保育室活動として活動スタート。DVDを見ながらヨガやカーヴィダンスをやった。親子でそれぞれに交流ができていると感じる。子が卒室しても集まり続けたい。



活動内容

2020年度の幼い子から。今年度より保育室活動として活動スタート。DVDを見ながら、ヨガやカーヴィダンスをやった。親子でそれぞれに交流ができていると感じる。子が卒室しても集まり続けたい。

保育士顔のり独に全員集合!!

公民館の児童館がワカッスル★

1がまにも体操ソラレ...

親子の成長

私も子供もいつも楽しい時間ともしゃんこサヨウナラー!!

親と親子は子の自分たちの時間を楽しくする場所

お母さんとバイバイするとき、泣いていた子どもが今では自分から保育室の準備をして楽しそうに通っている。

ベテランの保育者のおかげでトイトレ成功!

講座で自分でゆっくり考える時間を持って、皆で意見交換を行い、良い刺激となった。

地域の知り合いが増えて、身近な情報に興味を持つようになった。

コロナで人と関わりが全くない日々でしたが公民館でお友達と過ごす時間は、私も息子もリフレッシュできる大切な時間でした。

近所に遊べるお友達ができました。子どもも自分もともに成長できる最高の場でした。

親子ともに大切な友達になりました。

ともしゃんこの活動は私にとって息抜きであり、学びの時間で大好きです。

ともしゃんこの活動は私にとって息抜きであり、学びの時間で大好きです。

親子ともに大切な友達になりました。

もとまち

親は親、子は子の自分たちの時間を楽しくする場所

ともしゃんこの活動は私にとって息抜きであり、学びの時間で大好きです。

親子ともに大切な友達になりました。

- ◇ お母さんとバイバイするとき、泣いていた子どもが今では自分から保育室の準備をして楽しそうに通っている。
- ◇ ベテランの保育者のおかげでトイトレ成功!
- ◇ 講座で自分でゆっくり考える時間を持って、皆で意見交換を行い、良い刺激となった。
- ◇ 地域の知り合いが増えて、身近な情報を持つようになった。

コロナで人と関わりが全くない日々でしたが公民館でお友達と過ごす時間は、私も息子もリフレッシュできる大切な時間でした。

近所に遊べるお友達ができました。子どもも自分もともに成長できる最高の場でした。

並木公民館

並木公民館では、現在4つのグループが活動しています。

自主グループになって5年目の OKOMA です



OKOMA の由来
韓国語でコマ=ちびっこ。
それに日本の丁寧な言葉にする『お』を加え OKOMA(オコマ)となりました。
(メンバーに韓国出身のママがいます♡)

私たちはその時々
皆で意見を出し合い
活動内容を決めています。

季節に合わせた
手芸などの創作をしたり、
料理をしたりしています。

仕事復帰したママもいれば、
3人目を出産するママもいて
(3組も♡)まだまだ現役で
ありがたく保育室を利用させて頂
いていただいています。

これからも無理なく
活動を続けていけたらと思
っています。

子どもの変化

自宅以外で初めて安心して遊べる場所ができ、最初は泣いていた子ども少しずつ慣れてきて保育者さんに会うのを楽しみにするようになりました。初めて聞く歌や手遊びを覚えて教えてくれることもあり、成長を感じることができました。

講座に参加している自分の気持ちと変化

数回に渡りさまざまな講座があり、ふだんママ友と話しにくいような深い話ができるので、講座以外でも自然と話しにくいような話題や相談事もできるようになり、気持ちが楽に前向きになりました!

2018年度『幼い子のいる親のための教室』に集まったわたしたち。現在、子育て相談や意見交換できる場として、幼稚園・小児科…さまざまな情報を持ち寄り、頼りになる同志とひと息つきながら自主活動中。

親子のふりかへ

2018年度『幼い子のいる親のための教室』に集まったわたしたち。現在、子育て相談や意見交換できる場として、幼稚園・小児科…様々な情報を持ち寄り、頼りになる同志とひと息つきながら自主活動中。

【トピックス】

グループ企画事業託児付き
子ども乗せ自転車講習
～子どもママも安全に～

メンバーが自転車走行中にケガ。意外と自転車マナーを知らないことに気づき、講習会(託児付き)を企画しました。小金井警察署の方をお招きし、正しい自転車の交通ルールを学びました。

〇×クイズ・動画・質疑応答でくわしく教えていただきました。

正しいサドルやハンドルの高さ、交差点の二段階右折を学びました。

子育ての悩みを相談し合ったり、気軽に話ができ、とても心強いです。お友達や保育者さんと遊べる機会が娘にとって楽しみになっています。

5歳・0歳女の子 ママ

引越して来たばかりで知人もおらず不安でしたが地域に仲間ができ、国分寺市での新生活を心強くスタートできました。

9歳男の子 5歳女の子 ママ

子育ての悩みを共感し合ったり、身近な地域の情報を共有できる、さまざまな面で助け合うことができる、私の想像以上の場所になりました。

4歳女の子 ママ

皆さんと交流する中で親子ともに成長させてもらっています。

5歳女の子 0歳男の子 ママ

公民館の保育室利用で母子分離に慣れることができたので、幼稚園入園の際とてもスムーズでした。

5歳男の子 ママ

子育ての悩みを相談し、共感し合える仲間にも出会えて、今でも情報交換したり、時には助けてもらったりととても支えられています。

4歳男の子 1歳女の子 ママ

2019年『幼い子のいる親のための教室』参加中に、
コロナにより教室が途中で終了してしまった私たち。

そんなことがありながらもマスク作り・ヨガ・卓球をしたり、
公民館にとどまらず、公園遊び・買物ツアーなど
自分たちのやりたいことをメンバーと一緒に楽しんでいます。

子どもと離れ自分の時
間をとれる息抜きの時
間になりました。リフレッ
シュができる場所です。
3歳男の子 ママ

保育者さんや公民館の
方と子どもが接するこ
とで、大きく成長しまし
た。
4歳女の子 ママ

息子にも私にも新しい
友人在りでき、この地
域での生活が、より楽し
くなりました。
13歳・10歳女の子
3歳男の子 ママ

子育てを共にする仲間
ができ、地域への信頼
や愛着が増しました。
3歳・1歳女の子 ママ

子どもは母子分離に回を重
ねるごとに慣れ、私も落ちつ
いて話ができる場所ができ
てとても有意義です。
4歳男の子 ママ

孤独になりがちな育児に仲
間ができ、自分に戻れる
貴重な集まりの時間です。
4歳女の子 0歳男の子 ママ

コロナ禍で感染対策も
考えながら、集まれる
場所、仲間ができ、良
かったです。子どもた
ちのこれからの成長が
楽しみです。
3歳女の子 ママ

初めは子どものために講座に
参加しましたが、和みの皆さんと
支える人たちに触れ合うことが、
私にとってもプラスになりました。
3歳女の子 ママ

子育ての相談をし合えて、
時には息抜きに体を動かしたり、
とてもリフレッシュできる場所です。
8歳男の子 4歳女の子 ママ



地域に何でも気軽に相談できる仲間ができたことに感謝です。また子どもも保育室を利用し、お友達や先生と遊べる楽しさを学び大きく成長しました。

4歳・2歳男の子 ママ

保育室に通うことで、お友達と遊ぶ楽しさを学んでいるように思います!! 私も子どもと離れてリフレッシュできる時間をもてて良い気分転換になってます。

5歳男の子

2歳・0歳女の子 ママ

初めての育児での不安や心配事を相談したり励まし合えるママ友ができてとてもうれしかったです。子どもと離れて過ごす時間は私にとっても娘にとっても良い時間です。娘もコロナ禍でも同年代の友達と遊べる機会をもらえて毎回とても楽しみにしています。

2歳・0歳双子女の子 ママ

保育室のおかげで子どもも成長。私も悩み相談やお話ができ、気が休まる場所!!

5歳・2歳男の子 ママ

グループ活動のなかでいろいろなママさんや公民館の方と話ができる貴重な場です。

子どもも保育室で楽しくすごしていてありがたいです。

7歳女の子 2歳男の子 ママ

強烈な2歳児と毎日みんなで戦っています! 笑。

たわいもない話から真面目な話、情報交換をして息抜きしています!

10歳女の子 7歳男の子

2歳男の子 ママ

子育ての話、情報交換、羊毛フェルト作りなどみんなで楽しく活動しています!!

はじめての羊毛フェルト作り。みんなでおしゃべりしながら4時間かけて完成しました!!



子育ての話、情報交換、羊毛フェルト作りなどみんなで楽しく活動しています!!



はじめての羊毛フェルト作り。みんなでおしゃべりしながら4時間かけて完成しました!!

初めての育児での不安や心配事を相談したり励まし合えるママ友ができてとてもうれしかったです。子どもと離れて過ごす時間は私にとっても娘にとっても良い時間です。娘もコロナ禍でも同年代の友達と遊べる機会をもらえて毎回とても楽しみにしています。
2歳・0歳双子女の子 ママ

強烈な2歳児と毎日みんなで戦っています! 笑。たわいもない話から真面目な話、情報交換をして息抜きしています!
10歳女の子、7歳男の子、2歳男の子 ママ

地域に何でも気軽に相談できる仲間ができたことに感謝です。また子どもも保育室を利用し、お友達や先生と遊べる楽しさを学び大きく成長しました。
4歳・2歳男の子 ママ

保育室のおかげで子供も成長。私も悩み相談やお話ができ、気が休まる場所!!
5歳・2歳男の子 ママ



グループ活動のなかでいろいろなママさんや公民館の方と話ができる貴重な場です。子どもも保育室で楽しくすごしています。ありがとうございます。
7歳女の子、5歳男の子 ママ



保育室に通うことで、お友達と遊ぶ楽しさを学んでいるように思います!! 私も子どもと離れてリフレッシュできる時間をもてて良い気分転換になってます。
5歳男の子、2歳・0歳女の子 ママ

公民館保育室での取り組み

～子どもを預かる立場から～



公民館の保育室は、母親が定期的に公民館で学習している2時間、「公費」で幼い子を預かります。子どもたちも定期的に保育室に通います。

母親を待つだけの時間を過ごすのではなく、親と離れ他者と接し、社会へ踏み出す準備として、子どもにとっても学びの機会となって欲しい、そして、どの世代にとっても公民館利用が社会教育の場となって欲しい、私たちはそう考えています。

この事業を50年間、「保育室活動」と呼んでいます。

① We are 「おばちゃん」 ～地域の子育てへの支援～

保育室で働く保育者は、昔から親しみを込めて「おばちゃん」と呼ばれています。

1971年当初は、母親が幼い子どもを預けて学習するという事例はほとんどなく、ボランティアで保育を担当することを申し出た市民によって初めての保育が実現しました。

職員として採用が行われている今でも、かつて保育室を利用し、今度は子育てを応援する立場になりたいという気持ちから「おばちゃん」になる人も少なくありません。

発足当初の地域の子育てに協力したい、という思いを今でも引き継いでいるのです。

現在、全員
子育て経験のある
市内or近隣市在住の
女性です。



現在マスクを
着用しています。

おばちゃん

おばちゃん：子ども＝1人：2人の割合で保育しています。
(2021年コロナ禍現在)

② 保育の現場で ～人は人とのかかわりの中で育つ～

保育室では、異年齢の子どもたちが一緒に2時間を過ごします。自由遊び、大型遊具の使用、おもちゃの片付け、絵本読み聞かせなど、保育の内容も子どもたちの様子を見ながら保育者が吟味を重ねてきたものです。

大きい子どもたちは、同年齢の相手を認め合いながら、少しずつ小さい子どもたちにも興味を示し遊びに誘う姿も見られます。小さい子どもたちは、大きい子どもたちの行動を見て、遊び方や他者とのかかわり方などを覚えていきます。

時には、おもちゃの取り合いや、順番が待てないなどのトラブルも起こりますが、それも子どもの成長の過程ととらえ、私たちは優しく見守っていきます。そして終了後の振り返りの中で保育者全員が話し合い、考えていきます。

受け継がれてきた保育目標である、「人は人とのかかわりの中で育つ」という考えのもとに、一人ひとりを大事にしながらの保育を心がけています。

6か月からお預かり可能です。

2時間、異年齢の子どもたちが一緒に過ごします。



③ 50年保育室が求められる理由 ～利用者も学び、保育者も学ぶ～

ほとんどの子どもたちにとって、保育室での2時間は親から離れ、他者と接する最初の経験となります。

初日は母親と離れられずベソをかいていた幼い子どもたちも、継続して通い始めると徐々に慣れてきて保育者との信頼関係も芽生え、自分なりの時間を過ごせるようになってきます。その順応能力は素晴らしいものです。

多くの母親たちが子どもの成長を嬉しそうに報告してくれます。

母親たちもしばし子どもと離れ、仲間とともに今の自分を見つける時間を過ごし、自らの人生に懸命に向き合っていきます。

そんな時、社会教育の場としての公民館ならではの保育室の、大きな存在意義を感じます。

そして、預かる側の私たちも、子どもや保護者と接し、かかわり、考えることで自らの学びになっていくのです。

母親として踏み出した女性、そして小さな子どもたちの成長に少しでもかかわれることは、公民館利用者の幸せとともに、保育室で働く私たちにとっても大きな喜びになっています。

保育室に通い出してからくっ下を自分ではけるようになりました！



利用者

保育室で覚えた歌を家でもよく歌っています！

④ 時代とともに～変わる保育室、変わらない保育室～

1994年度にはピークを迎えた子どもの利用者数は、その後の予算減もあり、また新型コロナ感染拡大とも相まって減少が続いています。しかも、現在、以前と比べて0歳児の利用がとて増えています。母親は出産を機に一旦職場を離れ、産休並びに育休中に保育室を利用し、それらが明けると子どもは保育園へ、母親は復職という事例が多くなっています。

保育室利用の子どもの減少、低年齢化、短期間化が進んでいるのです。これらも時代の流れと捉え、対応していくことが今後の一つの課題となってきました。

その一方で、初めての子育てに悩み、近年進む核家族化の中で孤独を感じている母親も少なくありません。家で子どもと毎日過ごす中で感じる不安や精神的なストレスを打ち明け、悩みを共感してくれる相手が身近にいないのです。特に昨年度からのコロナ禍でほとんど外出できず、それらを顕著に感じている母親が増えているのではないかと実感しています。

保育室はそういった母親たちをいつの時代も迎え入れてきました。

問題も…

低年齢化
予算
利用者減少
コロナ禍での孤独な子育て
今後はどうなる？



発足当初から変わることなく公民館保育室は、母親の「学習機会の提供」だけでなく、そこに通うことで「仲間との出会い」「子育ての情報交換」「ストレスの緩和」といった、子育てを応援する役割をいつの時代でも担っているのです。

そして、保育者も含め保育室に集う人々がそれぞれ学び、互いを理解し、成長していくことができるチャンスを提供してくれているのです。

私たちは50年という年月の重みを感じながらも、時代と共に常に前進すべく国分寺市の公民館保育室として今後も活動を続けていきたいと思ひます。

皆さんもぜひ国分寺市の公民館保育室活動に関心を持って頂けたらと思ひます。



保育室での2時間

～本多公民館保育室では～

保育室での2時間の保育内容の流れはいつも大体決まっています。いずれも子どもの様子や反応を見ながら考えられてきました。同じ内容を繰り返すことで子どもたちも安心し、保育室に早く慣れていくことができます。いつの場面にも私たちは寄り添い、安全チェックはもちろん、子どもたちと一緒に保育室での時間を過ごします。



① 挨拶：
入室後、名前を呼び出席の確認をします。



②自由遊び：自分の好きなおもちゃを認識し、お友達とのかかわりも生まれてきます。



保育者も
一緒になって
ごっこ遊びや
見立て遊びを
楽しめます



③ 大型遊具：
安全に注意しながら、すべり台、トランポリンなどで思いっきり体を動かします。



④ おやつ：年齢に合わせたおやつと麦茶を皆で一緒に頂きます。(おやつは、コロナ禍現在中止)

大きい子は
テーブル運びや
食器の片づけも
手伝ってくれます



お茶を飲みながら
ペーパーサートや
手遊びをして
います



⑤ トイレ、おむつ替え：
全員のおむつをチェックします。



⑥ 絵本読み聞かせ：
お帰りの前には絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、心を落ち着かせます。



畳スペースもあり、
お布団も用意しています



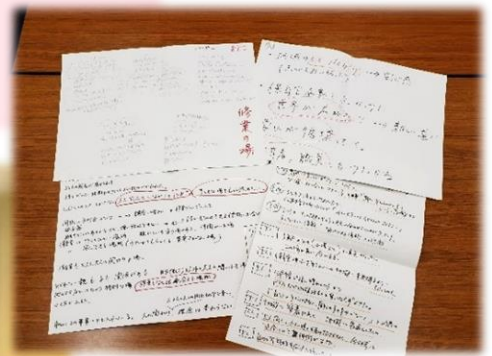
座談会

— それぞれの想いを語り合う

これまでに活動してきた人、いま活動している人、
保育室について知りたい人…
地域ごとの7グループにわかれて、想いを共有

<内容>

- ・事例発表をふまえた感想
- ・子育ての悩みや、子どもと離れて過ごす時間の大事さなどを自分自身の活動や経験をもとに出し合う
- ・次世代につなげていくために…



講演会の講師である山澤さんが、座談会開催時に7グループをまわりました。

講演会の最初に、7グループから話し合われたことの要約を全体で共有。

山澤さんは要約を聞いて、また会場をまわった時の話の中で、特に大切なことやキーワードになることをコメントしてくださいました。

次のページ ▶▶ 各グループで話された内容の要約
山澤さんコメント

第1グループ(音楽室)

- ・自分は、結婚してすぐ国分寺市に引っ越してきた。初めての子育てだったが、保育室に参加して友達ができ、絆が生まれた。日々の生活が楽しくなり、地域交流もできた。一步踏み出す勇気が大事だと思う。個人で他の人とのつながりをつくるためには、それなりの努力が必要だが、最初の一步は難しいけれども一步踏み出してしまったら、人も許せるし、自分も許せる。保育室へ参加することで人とのつながりをつくりやすくなる。
- ・親になると肩書がなくなってしまう。
保育室に参加したことで「〇〇公民館の〇〇です」といえるようになった。
- ・「(保育室は)『無償学習』だ。自分が学んだこと、してもらったことを次の人にしてあげる『返し』の場だ。」と言われた。そうした意味では、だれにでも声かけができるものではないが、自主的に動くことの大切さを感じた。保育室では、「どのように声かけをすればいいのか。」の練習になる。保育室への参加を通して太いつながりができた。「地域で活動することの大切さ」を感じる。
- ・自分は、社宅住まいで、子どもたちの面倒を互いに見合った。
一人で子育てをするのはつらい。仲間が必要。
- ・「自分の夫や子ども」の幸せを思ってきたが、今は「周囲の人と一緒に育てるもの」と感じるようになった。保育者の賃金が最初は無償だったが、今は有償になった。これも『後の人のために』頑張った成果だ。
- ・「行動に表すことの大切さ」がある。
- ・自分の価値観が100%合う人はいない。
「仲良く」という言葉には「許せる」という意味も含んでいる。



【講師からのコメント】

「子育てが絶望的になる。」と、講座やアンケートでも多くの方がおっしゃっていて、そんな時にチラシを見て講座に参加していたという方も多いですね。

一見専業主婦で赤ちゃんを育てていたなら幸せな女性に見えがちで、もちろん幸せなこともあるけれど、でもそれはそれでとても大きな悩みや辛さを抱えていらっしゃる。

でもそこで、「一步踏み出す勇気」。

「この一步は難しいけれども一步踏み出してしまったら、人も許せるし、自分も許せる。」

素晴らしい言葉だと思いました。

「公民館も保育室も周りの人と一緒に輪を広げる場所だと感じた。」

「後輩たちのために何かをしたい気持ちが当時あったのでこういう活動を始めた。」

これもとても素晴らしいことだと思いました。

「細いつながりが太いつながりになって行く。」

これもみなさん実感なさっていると思います。

とてもいい話し合いができていたと思います。



第2グループ(会議室 C)

- ・ 子どもの人見知りや激しく、どこにも預けられなかった。外出することも不安で、どこにも行けず、狭いところで子育てをしていた。そんな時に「幼い子のいる親のための教室」を知った。保育者の「いいの、いいの」の言葉に救われた。泣きっぱなしだった子どもも、少しずつ楽しめるように。子育ての場が広がった。自分以外の方が、子どもの成長を喜んでくれてうれしかった。
- ・ 自分が子育てをしている時代は、核家族ではなく、家族に子どもを預けられた。今は家族に預けることは難しくなっている。公民館保育室のような仕組みの情報をどうやって広げられるか。保育室を経験した親が、小学校でPTAを担うなど、地域や社会へとつながりを広げていききっかけとなっている。
- ・ 市民を励ましてくれる職員の言葉がありがたかった。個人の課題は社会の課題であると思う。子育ての土壌づくりがつながりの発展へ広がっていくと思う。
- ・ 地域の人とのつながりは今でもとても大きい。保育者や職員など支えてくれる人がいる。知っている人がいるというだけで、公民館はほっとできる場所となっている。
- ・ 保育室は子どもにとっても大事な社会経験ができる場所。
- ・ 自分の視野を広げるきっかけづくりの場。

【講師からのコメント】

このグループで特徴的だったのは、
「公民館とつながったことで、資格を取るようになった。」
という方がいらっしゃったことです。
公民館の保育室でサポートしてもらった講座を
受けたことでステップアップしていくわけですね。
それが何人もいてうれしいと思いました。

「子どもたちにとってもすごく大切な社会になってきた。」
ということも話されていました。

「職員の方々のサポートがありがたかった。」という話もありました。

以前に行ったインタビューの時でも、
「職員たちがきめ細やかに温かくサポートしてくださった。」
という言葉が記録のためにとったテープを切ったら
出てくる。

テープを切ったらみなさんホッとして本音を出してくる。

ですから、本当のことなのですね。

とてもいいことだと思いました。



第3グループ(集会展示室)

- ・グループの仲間は約束しなくても会えるという安心感があり、他のママ友とは違う大切な存在になっている。
- ・グループ活動は母子ともに成長の機会になっている。幼稚園に入る前に親以外の大人や同世代の子どもと関わる機会があったことで、幼稚園もすぐに慣れることができた。
- ・保育室活動を通して友達や自分が話せる場ができ、国分寺市の子育てに関する情報を得ることができた。いろいろな意見を聞くことで気分転換になり、つらかった子育てが楽しくなった。
- ・引っ越してきたばかりの時に「幼い子のいる親のための教室」に参加。
グループの仲間は〇〇のママ、ではなく一人の人として繋がることができ、心強い。
- ・50年前に保育付き講座に参加。公園で会う友達とは違う、夫や子どもの話をできる人に出会えた。「人は人の中で育つ」という理念が今でも受け継がれており、保育室はこれからも必要なものであると実感できた。保育室を選んで来ている人が考えて使っていてよかった。
- ・保育室のおばちゃんはずら否定せず受け入れてくれるので安心できる。

【講師からのコメント】

安心してみなさんに会えるという「安心感」、地域での「安心」、それから「保育室を選んで来ている」、ここはすごくキーポイントだと思います。

他の保育ではなくて、この保育室がどのように良いか。ということだと思っております。

この後の講演はここを考えながら聞いてほしいと思います。

「みんなで子育てをしていこうという気持ちになった。」

「自分だけでなく、子どもだけでなく、夫も変わった。」

「コーラスや手芸をしたりすることはコミュニケーションとしてとても大切なこと。」

さらに、「突っ込んだ話をきちんとできる仲間ができた。」という発言も出ました。

これはとても大切。

つまり、ご近所では話せないことも、この仲間なら本音を話せる。

そういう仲間というのは素晴らしいと思えました。



第4グループ(講座室)

- ・発表を聞いて、時代が変わっても「孤立した子育て」は変わらないと感じた。グループ活動を続けながらのPTA活動や、五館の会で横のつながりもでき、また講座の企画を通じて地域の方との交流も生まれた。
- ・他自治体で、子どもと一緒に受講する講座の経験はあるが、母子分離で学習できることは本当に素晴らしいと思う。
- ・他自治体では子どもを預けて運動しようなど、実施内容が決まっているが、国分寺市では自由なので、自発的に考える回路ができたと感じる
- ・まちでグループのメンバーとすれ違うことが多く、地域に家族がいる感覚。また、さまざまな背景を持つメンバーに出会い、刺激を受けて生活にはりが出る。グループは、私が私らしくいられる場所。
- ・「子どもを預けるなんて…」と思っていたが実際に預けてみて、子どもの世界も広がり、自分自身とても楽になった。子どもに対して、この子はこういう子と決めつけていたが、利用者懇談会で自分の知らない子の一面を知り、子どもを見る目が変わって寛容になった。
- ・オランダ語で「家庭教育」を意味する言葉はないと聞いた。近い言葉は「子育て」で、子どもは自分で育っていくと考えられている。親が子どもを育てるという考え方は、子どもの自立性を損なう面がある。子どもと親を、家庭とは別の空間／時間に切り離して、別々に過ごすことが大事。

【講師からのコメント】

「ママが」「母親が」「私が」子どもを育てなければいけないと思っているお母さんが、今でもたくさんいることに驚きました。1971年にこの保育室活動が始まって少しした頃に、私自身が子育てしていたので、その方々の思いが非常によく分かります。3歳児神話があるので、子どもを母親がみるのは当たり前という考えが多かったです。それが、50年後の今の若いお母さんでさえそう思っているということに驚くと同時に、



その人たちのためにこの保育室が本当に大切な存在だと再認識しました。阪神淡路大震災の頃に学んでいらした方から、「防災の視点のグループ活動をした」。「当時保育者の給料はもらえないのだけど、自分たちの手で講座を開きたい。」ということで始めた。その活動がPTAにつながり、五館の会に参加することになり、横の新しい友達もできて、地域の方々に大変お世話になった。」というお話がありました。この保育室活動は地域参加をみなさんが個々になさっていく講座、活動だと思いました。



第5グループ(会議室A)

- ・子どもが小学1年生の時、「母親は勉強するか?」ということについて論争があった。
子どもにとって母親は勉強するのが当たり前という意識を持っていた。
- ・子どもにとって同年代の子どもと接する機会をと思い参加した。回を重ねると徐々に泣かなくなり、子どもにとっての成長の場となった。母親の成長としては学びの機会をもらえた。また講師の話から勇気をもらえた。
- ・40周年の時にも参加したが、その時より今回は現役の世代の参加が多いように感じた。
幼い子→PTA→地域づくりが40周年の時のモデルとして紹介されていた(母子共に成長)。
家庭の中だけではなく公民館で社会性を学ぶことがとても良い機会となっている。
子どもにとって家庭の中では父母との関係しかないが、公民館では父母以外の大人(保育者)との関わりや同年代の子どもとの関わりなど広い社会を知るきっかけとなっている。また母親にとっては自分の可能性を再発見する機会となり、成人教育の場として重要な場となっている。
- ・母は同年代の子どものいる母親と知り合うきっかけとなり、現時もつながっている。有料で預ける託児を経験したが、お金と引き換えに子どもを預ける罪悪感があったが、保育室ではそのような罪悪感はなく、ともに預けることで成長できた。
- ・地域に知り合いがない中で公民館保育室を通じて知り合いができた。その後も公民館での活動を通して小中学校でのPTA活動もやりやすくなった。
- ・保育室に通っていた当時、職員から保育室はロッカーではないと言われた。公民館保育室は無料が重要で保育室活動を通じて母子ともに地域社会とつながるきっかけとなる。卒室後、保育者として関われなかったことが残念ではあるが、どこかで恩返しをしたいと思っている。
- ・子どもを預けることに不安を感じていたが、子どもと離れ地域と関わることで成長できた。
保育室の経験もあり、幼稚園入園前から地域に知り合いができて、自然と地域に溶け込めた。
- ・保育室に子どもを預けることで自分の時間が持てた。その中で自分の20年後(やりたいことも含め)を書き出すプログラムがあり、その書いて出す(アウトプットする)ことがよい経験となった。

【講師からのコメント】

当初に活動なさった方のお子さんが、「お母さんが勉強するのは当たり前だと思っている。」というお話が印象的でした。当時は、お母さんは勉強しないものだという風潮があったことは確かなのです。その中で、お母さんが勉強していることを誇りに思っている発言だと思えます。この講座、自主グループがお子さんにいい影響を与えていると思いました。

「この公民館で子どもたちが素敵な大人にたくさん会える。」

これは宝ではないかと思えます。いい人を小さい時から見ていくことは成長過程においてとても大切なことなので、公民館はそういうところも役に立っていると思いました。

「今でも付き合っていける仲間」というのは素晴らしいですね。ここは最終的なポイントではないかと思えます。グループのメンバーが転勤やいろんなことで音信不通になったりするので、どのようにしたら続けていけるか、こういう点を考えながらこの後の時間を過ごしてほしいです。

第6グループ(会議室3)

利用者(参加前)

- ・市の施設に初めて参加することは、とてもハードルが高い。
- ・自分から積極的に参加することより、知り合いの紹介で保育室に参加してみるなど、何らかのきっかけがないといきなりは難しい

保育者(初めての参加者の受け入れ)

- ・初めて子どもを預ける保護者は保育者と目を合わせない人もいる(信頼関係が築かれていない)

利用者の声(参加してみて)

- ・子どもの成長を感じることができた。
- ・自分の時間を持つことができて、自分の言葉で最後まで発することができることはとても気持ちが良い。
- ・「～ちゃんのパパ」ではなく「〇〇さん」と呼ばれる。自分が自分でいられる。
- ・上辺だけの付き合いではなく、一歩踏み込んだ人間関係を築けるのが保育室。
- ・国分寺市の友人ができて、初めて国分寺市の人になれた気がした。

保育者(自分たちから見て)

- ・保育者同士の関係も子育てに大きな影響があった。
- ・保育室の活動を通じてさまざまな場で活躍されている方が多い。
保育室をもとに種をまく活動からたくさんの花を咲かせてほしい。



【講師からのコメント】

市の施設は敷居が高いなと思うところもあるけれど、決してそんなことはないフレンドリーな場所なのです。そこで「自分の時間を持って、自分の言葉を発して、いろんなことを学ぶ。」という発表があり素晴らしいと思いました。

私も育児中、固有名詞で呼ばれたことはなかったのですごく寂しいと感じていました。

「『〇〇ちゃんのパパ』ではない」これが、今まだ死語ではないという現実。これを私たちは噛みしめなければいけないと思うのです。それが故にこの保育室の存在価値があると思います。

「保育をしている時、初めてお子さんを預けるお母さんそしてお子さんとは目が合わない人もいます。でも、保育者と母親と子どもとの信頼関係ができれば目が合うようになる。」という発言が保育者さんからありました。

保育室は信頼関係が基盤になっていると思うのです。保育者と母親の信頼関係ができていれば子どもに全部伝わるので、これはとても大切なことです。

実行委員長の百瀬さんは、「保育室のあゆみ」という冊子に夫も文章を載せていらっしゃる。グループ活動で学んだことを帰って夫に話をして共有しているということなのです。

ママの学びが、パパの学びになっているのです。素晴らしいと思いました。

第7グループ(和室)

- ・ “子どもを預けて最高”という気持ちになる。それは自分が勉強できて、子育て中のママや先輩ママに相談できるから。大人と会話できることの大事さを感じる。
- ・ 保育室で子どもを見守ってくれる保育者がいる。それは地域の人に子どもを見守ってもらえているという心強さにつながる。
- ・ 子どもを預けることを心配していたが、安心・信頼がもてると人に預けることに不安はなくなる。
- ・ 社宅住まいの時、自分が外に出て、夫の関係と離れた知り合いができた。姉は保育園に行き、妹は保育室に行く。下の子どもにとって居場所ができた。卒室しても自分たちで集まりを待っている。夫を巻き込んで活動している。
- ・ 活動を通して自分は育ったと思う。具体的には、活動中に自分の意見を求められる。そんな時に、自分の考えをまとめ、発表することで一人の女性に戻れたと思った。相手の意見もきちんと聞く。人と人との関係性を学んできた。
- ・ 講座に参加した人が復職するケースが多くなり、平日の自主グループ活動の参加人数は減ってきている。しかし、休日に復職した人も含めた活動を開催するなど、つながりを大事にしている。
- ・ 大人が復職して活動が途絶えてしまっても、その後退職して地域に帰って来た時に、地域のことについて何かやろうと思えたら、それで良いのではないか。

【講師からのコメント】

こちらもとてもいい話し合いができていたと思います。
「安心できる」という言葉がたくさん出てきていました。
地域ってというのは「安全・安心」が大切だと思います。

「こちらで出産するが、自分の実家が近くになく、非常に不安を覚えた。
そういう時に講座に参加して安心した。」と言う方もいらっしゃいました。
「働いている方が増えてきた。」という発言も多く、
「ラインを使って情報交換をしている。」というお話もありました。



講演会

— みんなで学び合う

保育室活動の経験が、意識や行動へ
どのように影響していくのかを知る

講師 | 山澤和子さん(生涯学習デザイナー)

<内容>

- ・座談会へのコメント
- ・保育室活動 50 年の歴史
- ・気づき、意識変容とは何か
- ・以前保育室活動をしていた人の意識変容と行動変容の読み解き
- ・今後の課題について



次のページ ▶▶ 講演会で使用した資料

国分寺市立公民館保育室50周年記念事業

2021. 12. 4. (土)本多公民館

子どもを預けるということ ～仲間とともに自分も子も育つ～

元日本女子大学客員准教授
生涯学習デザイナー
山澤 和子

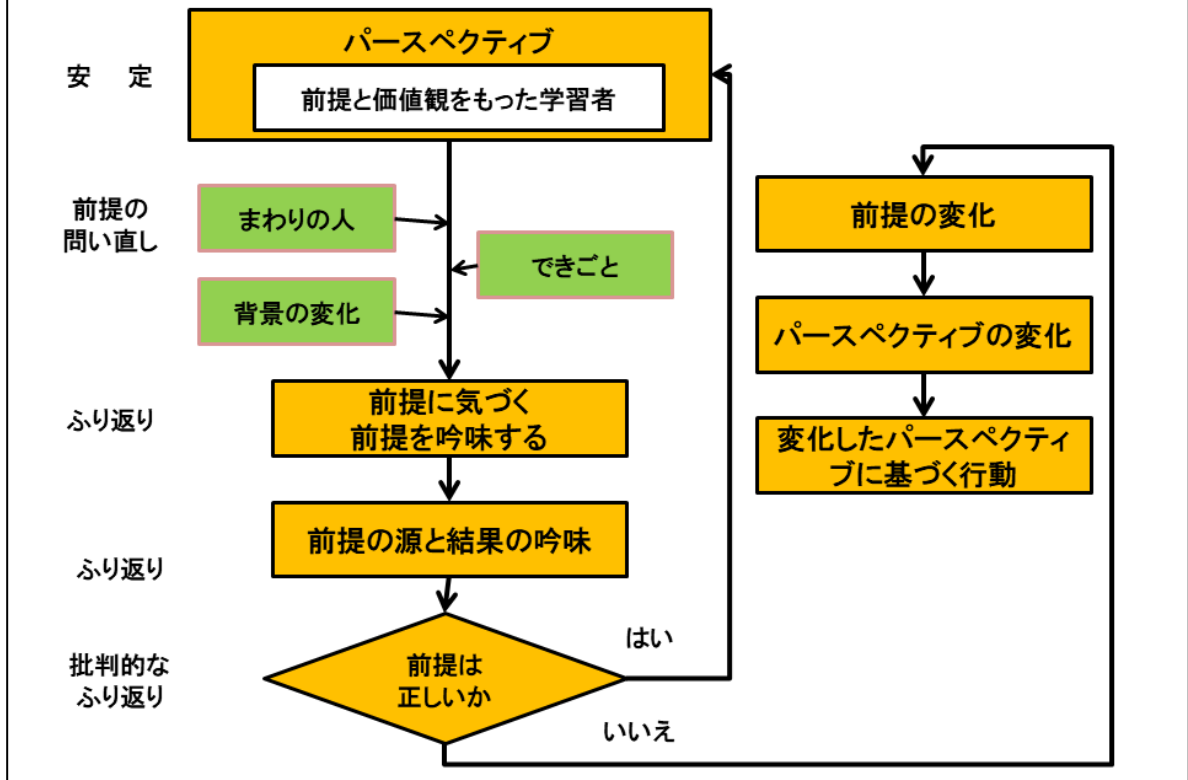
50年前の気づきと行動

先輩の意思を後輩が受け継ぐ

- 1971年 本多公民館に「たんぽぽ」グループ誕生。
1973年 グループ学習開始。
保育は若い方に道を開くため、無償で行われた。
- 1972年 たんぽぽ中心に陳情書提出(821名の署名)
- 1974年 保育室が児童館に設置。
自分が学ぶ以外に、子どもを育てることの尊さを学ぶ
- 気づき:協力すれば実を結ぶ。
子どもたちを、友達を大事にすること。
- はじめは、わが子をあずけて、自分が勉強したかった
→すべての母親のために
- 1974年 保育者のための保育講座開講

意識変容の学習

(出典)おとなの学びを拓く(パトリシア・クラントン著/三輪建二ほか訳)



並木公民館 2019年度講座

私らしく笑顔で暮らす

子育て中の今、生活の中心となる自分の暮らす町で自分自身のこと、子育てや家族についてじっくり考える時間を持ちませんか

日程:9月26日~2月13日(木)全15回 10:00~12:00

講師:山澤和子

参加人数:13名

1	9月26日	木	保育オリエンテーション	職員・保育者
2	10月8日	木	自己紹介と大人になってから学ぶ意味を考えよう	山澤和子さん①
3	10月10日	木	コミュニケーション力をつけよう	山澤和子さん②
4	10月17日	木	子どものことを考えよう 褒める&自己肯定感	山澤和子さん③
5	10月24日	木	今生きている社会の状況を知ろう	山澤和子さん④
6	10月31日	木	地域交流&講座の振り返り	職員
7	11月7日	木	専業主婦と働く女性の悩みを考えよう	山澤和子さん⑤
8	11月14日	木	パートナーとの関係を考えよう	山澤和子さん⑥
9	11月28日	木	出産について語り合おう	山澤和子さん⑦
10	12月5日	木	地域交流	職員
11	12月12日	木	保育室交流会「クリスマス会」	職員・保育者
12	1月23日	木	冬休みエピソード&保育懇談会	職員・保育者
13	1月30日	木	20年後を考えよう	山澤和子さん⑧
14	2月6日	木	講座のまとめ&ネットワークづくり	山澤和子さん⑨
15	2月13日	木	講座の振り返り&これから	職員

2019. 2020年度受講生 インタビュー・アンケート調査より

講座での気づき

- ・ひきこもらず、意見をもち生活し、社会と向き合わなきゃだめだと思った。
- ・日本語で話すストレスや不安があったが、皆と話ができるようになり、自信がつき、日本で頑張っていけるんじゃないかと思った。
- ・「起業」したいということを再認識。人生が大きく変わった感じ、一歩踏み出せた。
- ・迷っていたが、二人目が欲しいなと思った。
- ・また仕事をしたいなと思い、eラーニングを始めた。
- ・私が変わったことで、夫にも変化が。夫の刺激にもなる
- ・このメンバーで地域との関わりをもちたい

子どもの成長(2021講座アンケート)

- ・ 母親のいない場所で、同年代と遊ぶ楽しみを少しずつ理解していったと思う。
- ・ 母親以外の存在(保育者さん)でも、信頼して接することを学んだ。
- ・ 保育されることに慣れることができた
- ・ 保育者さんや兄妹以外の子と触れ合えて、刺激され表情や遊びが豊かになったこと
- ・ 年上の子や保育者さんと遊んだことで、他の人に手を振るなど社交性が身に付いた。
- ・ 母親と離れ、お友達や保育者さんとの交流で逞しさが増した気がします。

2018インタビュー・アンケート 自主グループでの気づきと意識・行動変容

①気づき

- ・人と接することで自分を知る気づき
- ・子どもは子ども同士で遊ぶのが楽しいという気づき
- ・外に発信していく難しさを改めて気づく

②意識変容

- ・市の事業(講座など)をもっと広めていきたい
- ・多様な選択肢を知り、考え直す
- ・育児の悩みを相談、共有することで気持ちが楽になった
- ・ママにべったりでなくても育つ、ママが楽しんでいる姿を見て育つ
- ・行動力が増したように感じる

③行動変容

- ・仲間をそれぞれの立場からフォローしあえるようになった
- ・社会問題を考える新しいグループを作った
- ・「幼い子の・・・」講座を薦めるようになった。
- ・楽しいことをしようと、常にアンテナを張るようになった
- ・地域や社会のことを考え、自分たちにできることは何かと考え行動するようになった。

2018、2021調査

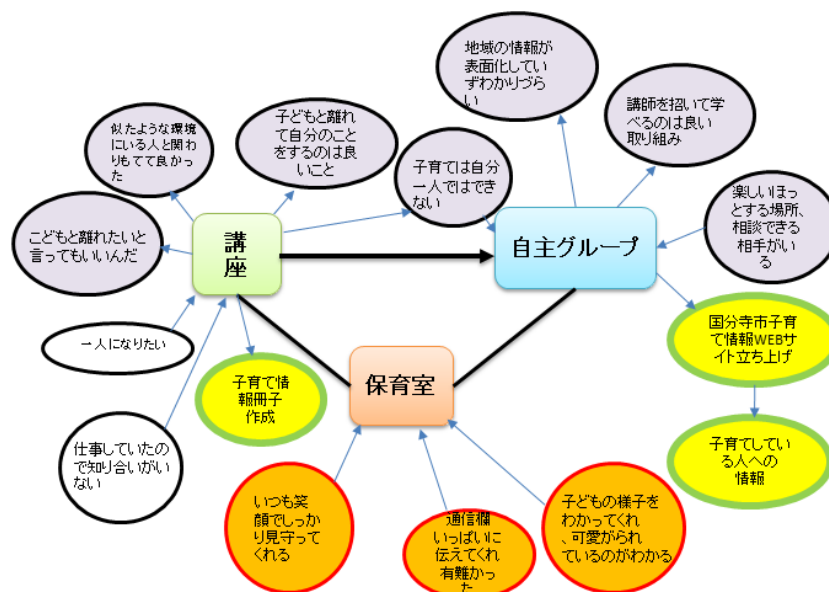
～おばちゃん(保育者)への感謝

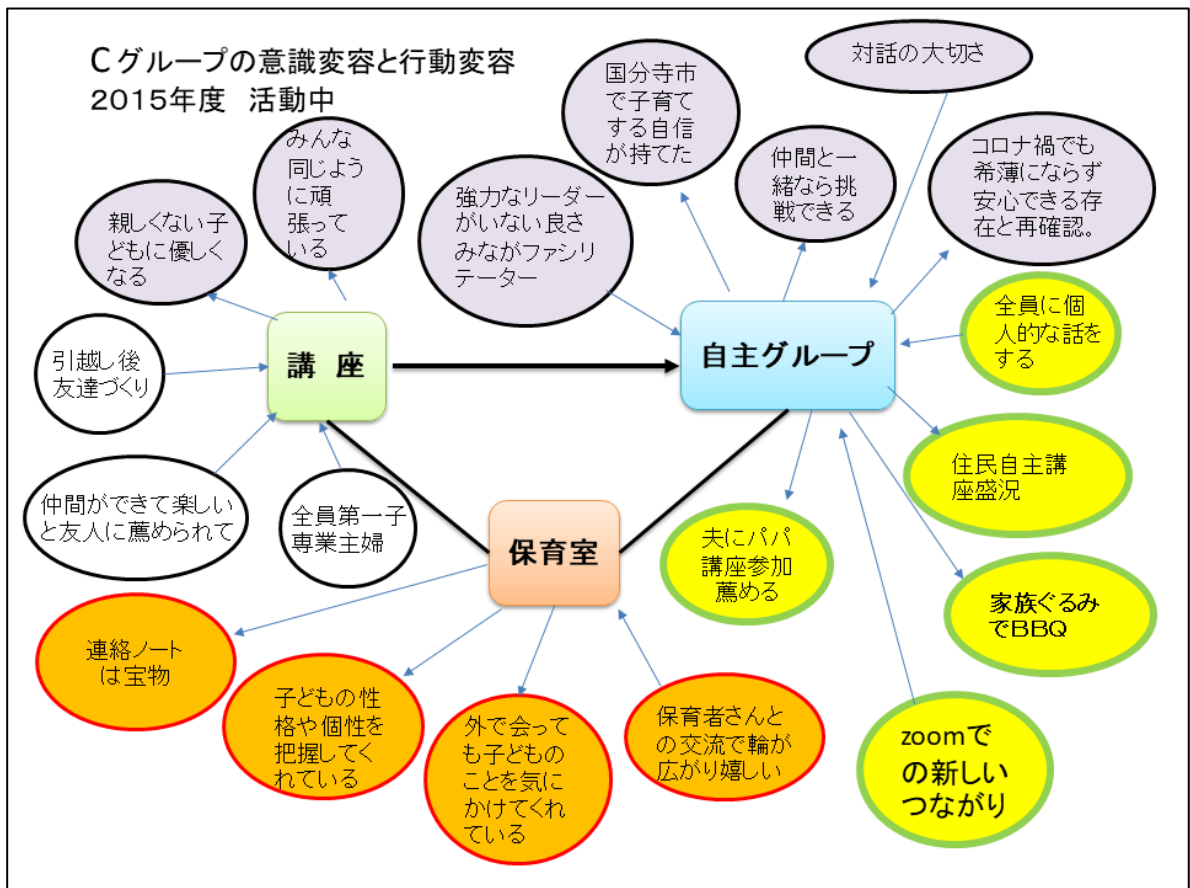
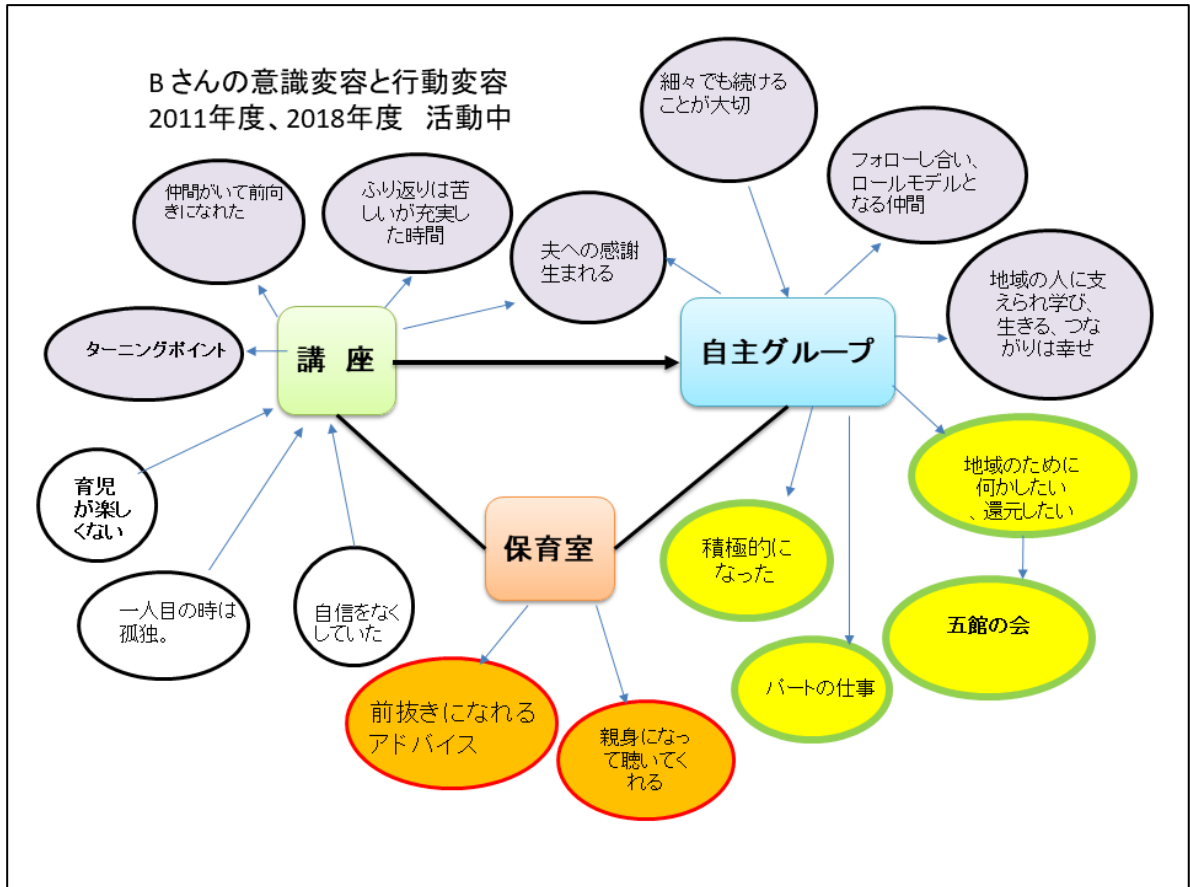
- ・可愛がってくれ、安心して預けられる
- ・外でも声をかけてくれ、見守ってくれる
- ・連絡帳、有難い
- ・愛情をもって子どもたちに真剣に接してくれる
- ・母が前向きになるアドバイスも
- ・親身になり耳を傾けてくれる
- ・忙しい中で、毎回連絡帳に細かいコメントを書いてくださったこと。
- ・いつも早く着いて、準備する保育者さんに会うことがあったが、皆さん子どもの名前を覚えて声をかけてくださっていた。
- ・どれだけ子どもが抵抗しても、しっかり預かってくれました。
- ・離乳食のことを相談した時に、保育者さんの子育ての経験を交えて答えていただき相談して良かったと思うことがあった
- ・滑り台の利用についてですね。自分で登れる子だけの利用、登るときに手伝わない！というのが、子どもの登ろうとする意欲や力を伸ばしてくれそうだなと感じました。

自主グループ事例紹介

- Aさん
 - Bさん
 - Cグループ
- 紫: 気づき、白: 講座受講動機
 - 黄色: 社会活動、オレンジ: おばちゃん(保育者)へ

Aさんの意識変容と行動変容
2016年度 活動中





保育室のあゆみから 保育者の気づきと活動

1. 保育者として

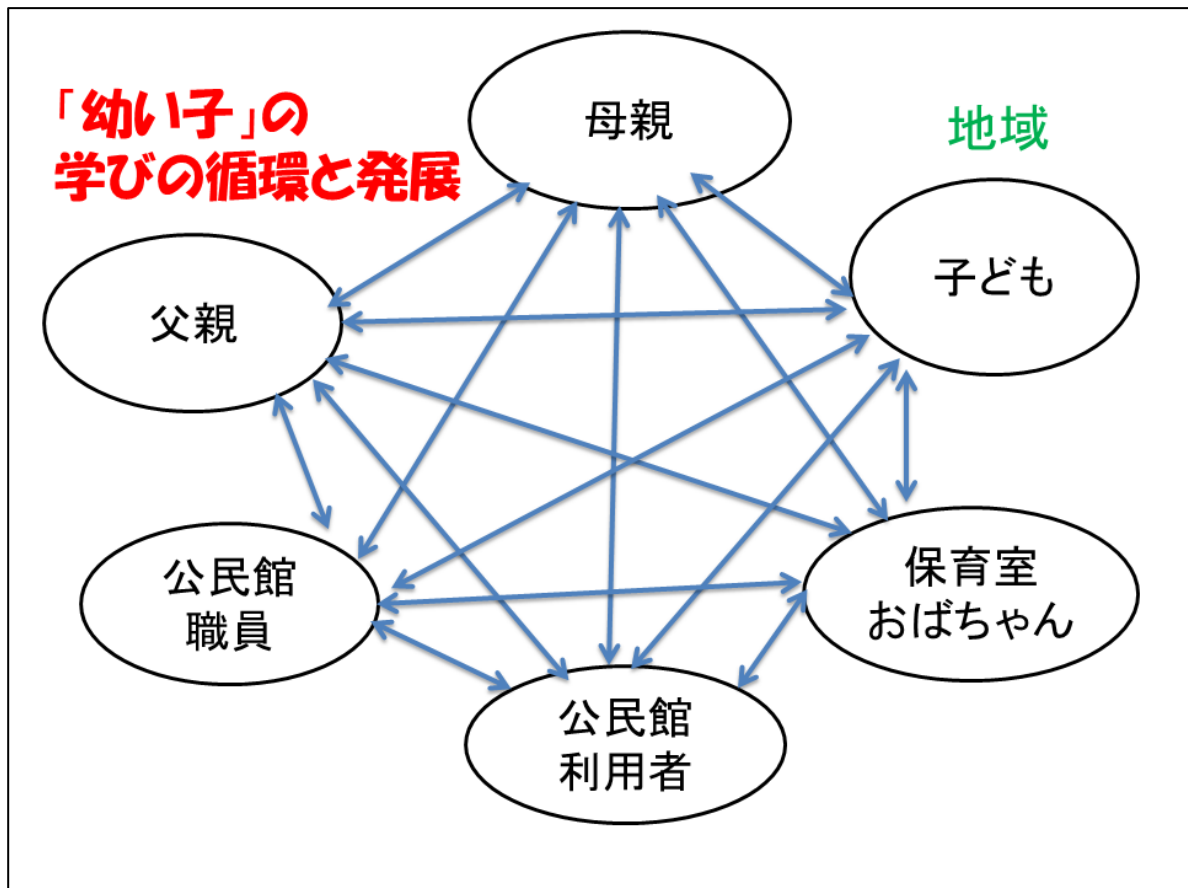
- ・人間の本質的な成長は「人とかかわる力」を軸に育つ
- ・人生の大先輩の保育者に励まされ支えられる
- ・保育者になって40年、50年と歴史が続くよう、皆さんと頑張っていきたい。
- ・子どもたちはいつも皆同じように仲間を求めている。そういう子どもたちの姿に勇気をもらっている。
- ・すべてのスタートは「保育室に通ったこと」

2. 活動・仕事

- ・「自分らしく生きる」をモットーに健康体操指導者のボランティア
- ・10年後保育者になり9年間子どもたちと学ぶ
- ・20年間自立した女性を目指し職業人として歩む
- ・管理栄養士となったきっかけが、講座と保育室
- ・ヘルパーとなり保育室での学習が役立った。生きる基本姿勢が学べた。
- ・運営審議委員をしている、公民館が地域の核になれるのではないかと活動している

学びの循環と発展

- ・母親の学び・・・ 自立、自己実現
- ・父親の学び・・・ 良い夫婦関係
- ・子どもの学び・・・ 社会性(集団生活)の獲得
母親からの自立
- ・保育者の学び・・・ 後輩への支援、自己実現
- ・職員の学び・・・ 学習支援
- ・公民館利用者の学び・・・ 見守り、子ども支援
- ・その他



今後に向けて

1. コミュニケーション
 - ・お団子の串の関係
 - ・SNSの活用(離れていても仲間)
 - ・個々の自立とゆるやかな関係
2. 多様性
 - ・育休中、外国人、LGBTの母親など多様な支援
3. 保育室活動について
 - ・保育室利用の継続
 - ・卒室後の預けあい保育(マニュアル作成、講習会など)
4. 地域
 - ・公民館との関わりを深める
 - ・地域の安全と発展
5. その他

参加者の声 (アンケートより)

No.

座談会で、50年前に保育室を利用された方とお話できました。50年前も今も子育てに対する不安や公民館を利用したことによる気持ちの変化など変わらないんだなと思いました。他市にない素晴らしい事業ですのでぜひ今後も続けていただきたいです。

自分自身の保育室活動を振り返るよい機会になりました。今日また参加された方々とさまざまな意見交換をしたり、山澤先生のお話を聞き新たな気づきがたくさんありました。とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

自分と子どもが住んでいる場所で子どもと一緒に社会と関わる第一歩になった公民館とその保育室だと思います。きっかけが公民館保育室で本当によかったと思います。これからも公民館保育室を大切にしていきたいし、なるべく多くの方に知ってほしいと思います。

保育グループの同窓会のようなつもりで来ましたが、大先輩から後輩だけでなく教育長・市議会の方から公民館職員の方まで一体となって実施されたことがわかり、今後の活動の継続を改めて願いました。参加させていただき、ありがとうございました。

1歩踏み出す、世界を広げる、学びを広げる、母である自分を深めていくことが大事だなと改めて実感しました。たくさんの方の座談会のお話も学びになりました。自分が育たなければ子も育たない!自分だけで育てるのではない、自信持って子どもを預けて自分を深めたいと思いました。

子どもたちにとっても、母親にとっても社会とつながるきっかけ、学びのきっかけの場になっていると思いました。孤独なワンオペ育児から解放される場から、自分の居場所、ステップアップの場へとつながっていると思いました。今回参加して、いろいろな方のお話を伺えてとても良かったです。

No.

自分たちのグループ活動が先輩の母たち、地域に支えられている実感が沸きました。これからも地域と心地良い関係を築いていきたいです。

さまざまなお話が聞けたこと、座談会の場も非常によかったです。いろんなことを考える機会をいただけたことに感謝の思いでいっぱいです。

五館の方のお話、各館の館長や保育者さんなど、いろんな方のお話し、意見を聞いて本当に良かったです。今後もこの活動がずっと続けていけるよう広めていきたいと思います。改めてこの保育室というものの大切さを感じられました。

多くの方がたくさんの学びを得ていた。“夫の学び”が実感している方も多かったことにおどろき。正直私の夫は理解しておらず、私を“ひま”と思っている。そういう夫をもつ中でのストレスや悩みもある。そのような夫婦としての講座があるといい…。

座談会で別グループの方や運営側の方、大学の先生のお話しなどを聞くことができ、新しい観点から気づきを得ることができました。他の方の経験談からも改めて保育事業の必要性を深く感じました。

座談会でいろいろな話を聞くことができ自分以外の人と公民館のつながりのエピソードを知ることができ、公民館の役割の幅広さを学ぶことができた。今日は参加できてよかったです。ありがとうございました。

私用で講演会しか参加できなかったが講演会の内容が詳しく聞いて良かった。保育室が子ども、親、保育者の学びと成長の場となっていることが良かった。

さまざまな立場の方が子育てに関わっているということを実感しました。子どもを預けることで地域のよい循環が起きているということがわかりました。とても貴重な場だと実感しました。

子育てが楽しく一人で悩んでいた時に親子ひろばの職員さんが幼い子の講座をすすめてくださったことが、保育室にかかわるきっかけでした。保育室という場所が50周年を迎えるということは、本当にすごいことだと思います。多くの方が関わり、支えてくださっていて、子を育てる親が安心して、そして笑顔になれるようにと理解し認めてくださっているんだなと実感しました。今この時代に保育室に預け、活動できることをとても感謝しています。国分寺市は子育てしやすい街なんだということを私の周りにどんどん広めていきたいです。

50年間も受け継がれてきた保育室の活動にたずさわれることをありがたく思いました。座談会では普段お話をうかがうことができない大先輩にお話をうかがえて将来の勉強になりました。

都公連大会のようなテーマで、長く保育室活動から離れてしまった者にはなつかしいテーマでした。現在まで続いているなつかしい仲間に出会えることのみを楽しみにして参加させていただきました。また当時の気持ちにもどることができ、このコロナの中で心の中に涼風が吹き抜けています。チラシにおのおの部屋の標示があると良かったです。

今日は50周年という記念の年の講座ということで、いつも利用させていただいている保育室にこれだけ多くの方が関わっているということに感動しました。地域のつながり、先輩方の努力と受け継がれている気持ちを感じました。座談会でもうなづくことばかりでお母さんたちがやはり子育てに辛さや孤独を感じていて保育室を通して仲間に出会えたこと、そこから元気になってさまざまな変化があったことを皆さんお話しされていました。思いの共有を経て、この保育室をさらにたくさんの方が知って利用して、子育てによって人と人のつながりが増えていけばいいなと思いました。

講演やお話を聞くだけでなく、座談会で意見をやり取りできたことが良かった。山澤先生の講演も勇気づけられるものでとても良かった。せっかくいらしてくださった公運審の田中先生のお話も伺いたかった。公民館保育室のこととても理解していただいていると感じたので。長く続けていくために今後保育室をどういう方向に向けていったらいいのか…今後のことをもう少し話せたら良かったと思った。

No.

みなさんが今までの
保育室活動に自信を
もっていらしてすばらしい。

保育室の重要性を学びました。
知り合いにもススメたいと
思います。

公民館全館で「幼い子のいる親のための教室」を保育室付きで実施している国分寺市はすばらしいと思います。「こんだん会」の時間で、さらにその後の自主グループにも保育が付くことが、親も子ども地域での学び、仲間づくりから社会参加につながり、地域づくりにもつながっていると実感できました。この国分寺市保育室のしくみはすばらしいです。他市も学びたい、広げたい施策です。この公民館のしくみを支えているのは公民館職員です。市民の学びと仲間づくりを支援、はげます役割を自覚している職員がいる公民館であることが重要だと思います。

若い方たちが元気に保育室活動している姿を見て安心しました。大変な子育てが少し軽くなったりしているとのこと。このような活動があることをもう少し広げられたら良いと。保育室のことを久しぶりに思い出しました。ありがとうございます。

親も子どもも成長できる場所でありうる
ことがよくわかった。保育活動を広く発信
すべき(利用者・参加者を増やす)。

私が子どもを保育室に預けたのは今から45年くらい前。そして私も本多保育室で10年間保育者として働きました。今子どもを預けているお母さんたちの話を聞いて、当時とはちょっと変わっていることもありますが、保育室に預けることで自分が一人の個人として自覚できるようになったりとか、社会への接点として公民館活動そして保育室活動がとても役に立っているんだなとうれしく感じました。

皆さんの発表、発言が心にひびきました。子どもの小さい時の社会参加つながりは、子にも親にも社会にも非常に有益だとつくづく感じました。人がかかわって自分もその一人になり、できることをしていきたいと思いました。

自分の母親よりも年上の方たちが子育てされていた時から続いている保育室活動だということを先輩方の話を聞いて、再認識し、その様な土台を作ってくださった先輩方や、継続して活動を支えてくれている市に感謝だと思いました。

この度の50周年記念事業が充実したものになるようにと尽力された職員の方々に心より感謝の言葉しかありません。当初ポスターセッション、座談会と、どうなるのかと気がかりでもありました。しかしポスターセッションでは若い親たちが緊張の中、一生懸命発表する姿に心を打たれ、座談会においてもよく考えられたグループ分けて短時間でしたが世代をこえ、とても貴重な時間であったと思います。山澤先生の講演は具体的な内容でありこれからどの様に活動をすすめていけばよいのかを現役の親に示していただき、他の参加者にとっては保育室の重要性を再認識したものでした。今回参加された方々はきっと個々の想いを熱くし、それぞれの場所でさらに活躍されるのではないかと思います。60周年に向け、次回は、現役の親たちだけの発表だとどうしても似通った内容になってしまうので、卒業した方々の発表が入ると、先生の講演がより活かされるのではないかと思います。

とても楽しくていろいろなことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

実際に保育室で活動や学習している方々の生の声がたくさん聞けたことがよかった。これらをもとに、保育室の効果をまとめ、この貴重な事業を今後とも続けていけるようアピールしていきましょう。ただ女性の生活と仕事が多様化する中で現行の保育室事業を変えていかねばならないこともあるかもしれません。より多様な人々がこの貴重な事業を通して成長し、地域づくりにその学習成果が活かされるよう、適切な改革を行いながら発展していくことを期待しています。

保育室を利用できてよかった。その仲間であられたことがうれしい。その後保育者も経験をしたことで、自分の職業の選択、あり方を自分自身でも認めることができ、自信にもつなげられた。人から認めていただけるようになった。私にとって保育室は、自分が人生において迷ったときにやり戻してくれる場だったと今日感じた。

私が子どもを預けたときは、公民館は古い建物で保育室は無く、地続きの児童館2階に間借りをしていて、朝子どもを預けて公民館に向かいました。建て替えの時は、公民館は少し離れたところにプレハブが建ち、移動時間を考慮しながら、保育室に向かいました。そして東南の角地に、保育室が作られました。おもちゃやブロックをそのつど仕舞うことがない、専用の保育室です。後に保育者になり、先輩たちのご苦勞を深く感じたとともに、この愛情を私も、伝えて行かなくてはならないと思いました。こんな50周年の歴史と一緒に語り合うことができるだろうか？若いお母さんたちとのギャップは計り知れない。何を発言したら良いのだろうか、思いながら参加しました。

最初の百瀬裕美実行委員長のごあいさつから、とても温かいものを感じホッとしました。そして現在グループ活動をしている様子を、各館から発表されました。皆さんの気持ちが私の頃とリンクして、「子育て中はみんな一緒なんだ！」と思うことができました。保育者の方の発表では、不安定な子育て中のお母さんたちを優しく見守り、預け預かることを通して、自分自身と向き合える働きかけをしてくださっていることが良く分かりました。

事例発表があったので、気負わず次の座談会に臨めたと思います。若い方のあふれんばかりのエネルギーを感じ、一緒に話し合いができ、続けてきて良かったと思いました。「保育室は安心できる場。約束しなくても、行けば親子で信頼できる仲間と出会える」皆さんが同じように発言されました。時代が変わり言葉が変わっても、保育室が必要とされている場、ということに変わりはないと思いました。時間が短くて残念でした。

山澤和子氏が各グループの発言を、丁寧に意味づけつなげてくださったことで、より一層参加者に届いたのではないかと思います。いろいろな気づきが学びとなるのだと思いますが、一步前進するよう学びに結びつけてくれるのは、人との関わりだと思います。職員からの助言や、家族・仲間・地域の人々。全てが大事な関りだなと今になって思えるのです。

実行委員の佐藤さんに閉会の辞でまとめていただき、50周年が一つにまとまったなと言う思いがしました。行き場のない思いで保育室に通うことになりましたが、得るものはとても大きく、自分自身を見失うことなく今日まで歩いてこられたのは、保育室の関わりがあったからこそ思い、感謝申し上げます。

未永く保育室の活動が続きますこと、願ってやみません。60周年にも出席できるよう励みたいと思います。

5. ポスター展

公民館保育室を知っていますか

保育室 50 周年記念事業の広報として、事例発表で使用するポスターをセレオ国分寺 9 階レストラン街に展示しました。また、それに伴い、市内の児童館や図書館などで活動しているグループによるおはなし会も開催しました。



【ポスター展】

セレオ国分寺 9 階……令和 3 年 11 月 12 日(金)～11 月 21 日(日)

本多公民館……………令和 3 年 11 月 22 日(月)～12 月 4 日(土)

※12 月 4 日以降は各公民館で展示

【子どもあつまれ おはなしフェスタ】

11 月 13 日(土)

- ① 13:00～13:20 絵本おたのしみ会
文学あそび わらべうた ほか
- ② 13:40～14:00 おはなしの会
絵本読みきかせ パペット人形によるわらべうた ほか
- ③ 14:20～14:40 はらっぱ文庫
紙芝居 おはなしカード ほか
- ④ 15:00～15:20 ウシバスおはなし会
紙芝居 わらべうた ビックブック ほか

11 月 14 日(日)

- ① 13:00～13:20 おはなしポケット
絵本の読みきかせ パネルシアター ほか
- ② 13:40～14:00 おはなしのくにピッピ
紙芝居『おおきくおおきくおおきなあれ』大型絵本読みきかせ ほか
- ③ 14:20～14:40 おはなしの会 でんでんだいこ
大型絵本『三びきのやぎのからがらどん』読みきかせ パネルシアター ほか
- ④ 15:00～15:20 東元町文庫
絵本『にんじんとごぼうとだいこん』読みきかせ エプロンシアター ほか





ポスター展 感想 (抜粋)

- ◇子育てが辛かった時、保育室と、そこでできたママ友に救われました!今後もママたちの心が安らぐ場所として存続してほしいです😊 コロナで大変な時期に ありがとうございます。
- ◇利用者です(光公民館)。保育者のおばちゃん方はみんな優しく 母子分離の第1歩にもなりますよ♡
- ◇何年か前に通った保育室。今は子どもが大きくなりましたが、とてもなつかしいです😊
- ◇少子高齢の今、ますます保育室の役割は大きいと思います。親は学びながら親になる。仲間との学びの灯、大切です。これからもますます貴重です。
- ◇公民館の大事な柱だった保育室。50年経ってまた新しいパワーが出ていますね!応援しています。
- ◇本多保育室利用してました。本当に親身になってお世話をしてくれて、安心して預けることができました。これからもよろしくお願いします。トランポリンなど遊んでいる写真をみた時は感動しました。



各館でのポスター展のようす

- ◇記念事業終了後、ポスターを各館に展示しました。
- ◇ふだん見られない他館の活動や自館のグループの新たな一面を知るきっかけになりました。



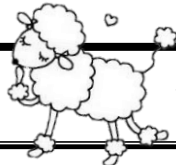
子どもあつまれ おはなしフェスタ 感想 (抜粋)



子どもが2才の頃、わらべ歌とかやりましたが、久しぶりにきけて、子どもも楽しんでました。幼稚園がおわったぐらいの時間から参加できる会をお願いしたいです。

子どもに分かりやすく、親も楽しめる内容でした。素敵な時間をありがとうございました。また定期的に駅などで、開催していただけると嬉しいです。

紙しばいをみる機会があまりないので、よい経験になりました。手遊びや体を動かす遊び、声を出す遊びは、これからの時期にも良いと思いました。



エプロンシアターとても良かったです。図書館のお話会で使えそうなので参考にさせていただきたいと思います。お花が笑ったの歌もペープサートより手袋の方が立体的で良いなと思ったので作ってみたいと思いました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

保育室事業が50年も続いているなんて驚きでした！
育休中一番の楽しみが保育室の日でした。今日のフェスタもおはなし会とコラボなんて母親の目線に寄りそった企画で本当にすてきです。ありがとうございました。

秋の気持ち良いお天気の下、楽しく過ごせました。ありがとうございました！



とても楽しかったです。知っている歌もありましたが、カップの数え歌も最後のわらべ歌も知らなかったですし、とてもきれいな歌、孫育てに参考になります。私もお話をしているので、勉強になりました。ありがとうございました。

子どもが楽しそうにお話をきいて楽しめました。週末に、来やすいセレオ内でこのようなイベントを行っていただき、ありがとうございました。

とても素敵なおはなし会でした。地域で長く活動されている方々とセレオ等の商業施設がこうやってイベントを開催していただくととても嬉しいです。また開催していただきたいです。

はらっぱ文庫どんぐりあて難しかった。(小二)
かみしばいながくておもしろかった。(小二)

導入から、手遊びうた、おはなし…温かで楽しいひとときでした。日ごろの活動を場所をかえてくださったただけなのですが、皆さんとてもお上手で引きこまれました。地域の大切な居場所です。応援しています。これからもよろしく願いいたします。





【おはなし会参加団体より】

楽しかった「おはなしフェスタ」

須藤初枝

国分寺市立公民館の保育室活動が50周年を迎え記念事業が組まれました。ポスター展が11/12～11/21には国分寺駅ビル・セレオ国分寺の9階で、11/22～12/4は本多公民館で行われました。その一環で、広く市民にご案内する子ども向けおはなし会を催すことになったそうで、国分寺おはなし・文庫連絡会（文庫連）に依頼がありました。それに応え、市内で活動する文庫とおはなし会の8つのグループが参加して11/13・14の2日間、9階のウッドデッキで「おはなしフェスタ」を実施しました。子どもたちにおはなしを楽しんでもらうお祭りです。

両日とも午後1時からで、各グループが20分間おはなし会を行い、20分の休憩を入れて1日に4グループずつ出演。コロナは少し落ち着いていましたが、整理券を出して、観客は入替制で参加する形でした。

両日とも晴天の暖かな日で、ウッドデッキに椅子や敷物を並べ、時間になると親子が集まってきておはなし会を楽しみました。

私は30年以上、地域で文庫やおはなし会に関わってきましたが、こんなに楽しい会は初めてでした。おのおののグループが20分をフルに使い、手遊び、絵本読み、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなどを組み合わせて、子どもが楽しめるプログラムを精一杯工夫していました。観客席は親子連れで程よく埋まり、後ろでは文庫連の仲間が見守り、笑い声が起こりみんな楽しんで聞いていることが伝わりました。

ふだんは活動場所が違うグループが、長年喜んでもらえるおはなしを選び、工夫し、たくさんの実践の中で磨きあげてきたものがにじみ出ている、本当に楽しく、学ぶことも多く、感心するばかりでした。

セレオにはいろんな人が集まれるし、ウッドデッキはおはなし会にはちょうどよい広さでした。



実施に至るまで公民館、保育室、セレオの方がしっかり支えてくださり、素晴らしい機会をいただいたことに感謝です。また機会があればやりたいとの声もありました。

ポスター展の掲示物を興味深く読ませていただきました。子育て中のお母さんや子どもたちに保育室が大切な場所であることに胸を熱くしました。これからも、保育室が親子の出会いと学びの場であり続けることを願ってやみません。

国分寺市立公民館保育室50周年、おめでとうございます！



II 公民館保育室を知ってもらうための 新たな取り組み

50周年記念事業を企画するなかで、公民館保育室の存在や事業の開催について、まずは知ってもらうことが大切だという話題が度々上がりました。
令和3年度に取り組んだ、公民館保育室を知ってもらうための新たな取り組みを紹介します。

1. 公民館保育室体験会 プレ保育室

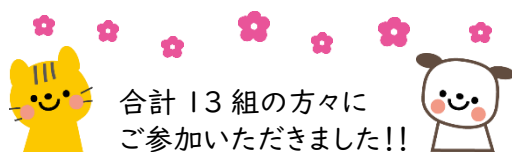
公民館保育室は、
どのような部屋で どのような遊びができるのか
五館全館にて、体験してもらう機会を設けました。

本多	令和3(2021)年11月16日(火) 午前10時~正午(2部制)
恋ヶ窪	令和4(2022)年1月28日(金) 午前10時~11時(入替制)
光	令和3(2021)年11月29日(月) 午前10時~11時40分(入替制)
もとまち	令和3(2021)年11月26日(金) 午前10時~11時40分(入替制)
並木	令和3(2021)年10月28日(木) 午前11時~正午

実際の遊びを体験したり



保育者から話をきいたり



参加者の声

保育者さんの対応が手厚い。
子どもの遊んでいる様子が
わかった。



自分以外の大人と関わる
良い機会になると思った。
体を動かせるのも良い。

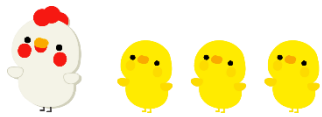


市報を見て参加した。
保育室を知る
良いきっかけになった。



はじめて知った。これをきっかけに
講座についても知ることができ、
早速申し込みました。





公民館保育室って こんな部屋



本多公民館



恋ヶ窪公民館



光公民館



もとまち公民館



並木公民館



保育室には、ブロック、おままごと、人形など
さまざまな遊具や、絵本があります。

子どもたちは、自分の好きな遊びを見つけ
みんなで遊んだり、じっくり遊んだりして
過ごします。

2. 広報活動

動画公開!

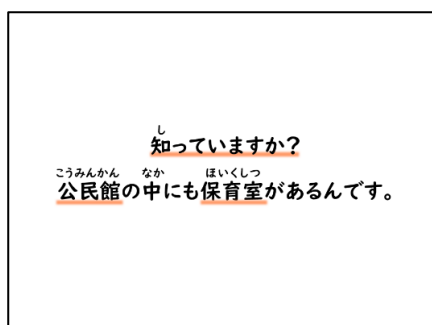
「公民館保育室を 知っていますか」

公民館保育室を知ってもらう“きっかけづくり”として、「どうして保育室があるの?」「どういうときに使えるの?」を短くまとめた動画を作成しました。

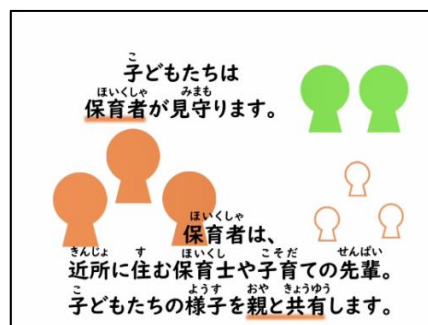
実際の映像は、下記 URL、QR コードから視聴できます。
<https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kouminkan/tsukaikata/1026662.html>



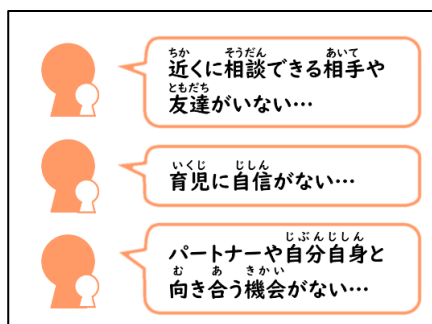
1



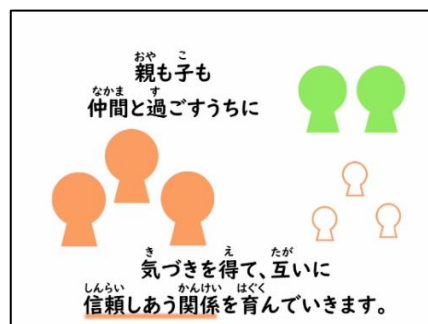
5



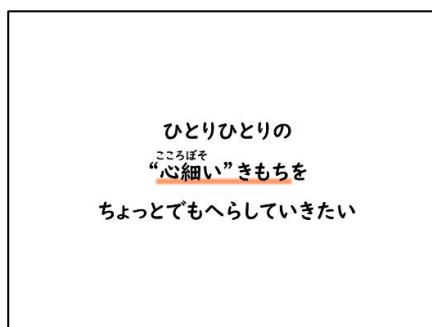
2



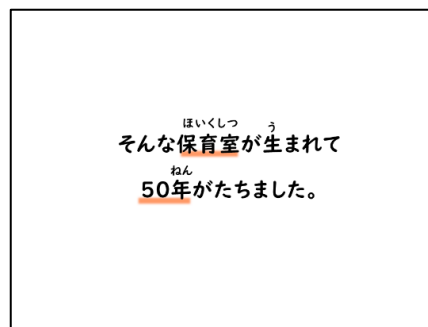
6



3



7



4



8



ホームページ新設！ 「公民館保育室について」

これまでは、公民館保育室を紹介したホームページがありませんでしたが、11月に新設しました。

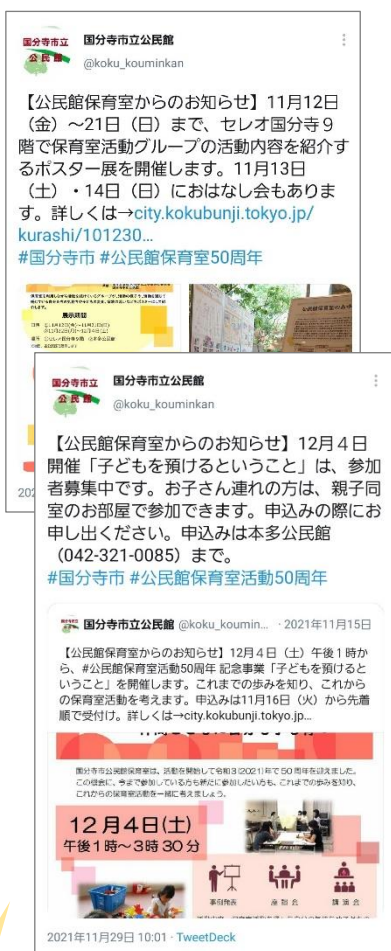
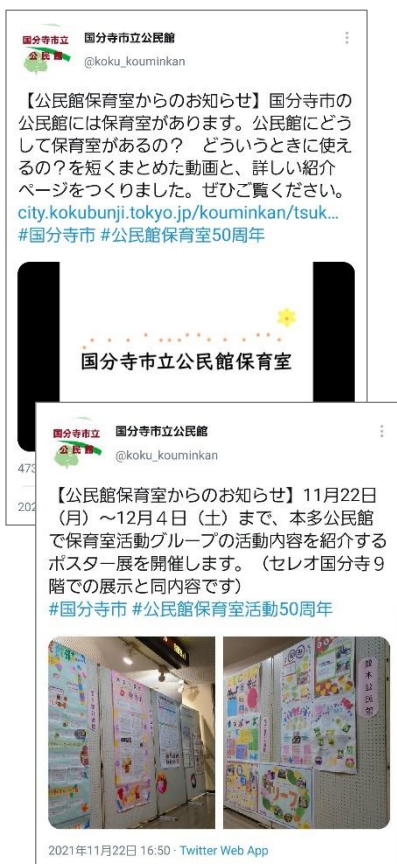
公民館保育室を活用して、どのような活動をする事ができるのか詳しく知ることができます。



前ページの URL、QR コードから閲覧できます!!

Twitter での 情報発信を強化!

国分寺市立公民館は Twitter でも情報発信をしています。50周年記念事業の前には、動画を掲載、ポスター展の様子を投稿しました。



<アカウント名>

国分寺市立公民館
@koku_kouminkan

下記 URL、QR コードから
閲覧できます!!

https://twitter.com/koku_kouminkan/



ふだんは、公民館主催事業（保育付き講座を含む）のお知らせをメインに発信しています。

Ⅲ. 資料

Ⅰ. 国分寺市立公民館保育室の50年

年度	月	主なできごと
63/S38	4	国分寺町公民館(現本多)開館
64/S39	11	国分寺市制施行
69/S44	3	社会教育委員会議「国分寺市社会教育施設設計要項」(五館構想)を建議
71/S46	11	教育講座参加者から保育要求出され保育を実施する
72/S47	4	保育者賃金を予算化(主催と自主グループの保育開始)
	9	「公民館附属保育施設設置に関する陳情」(⇒採択)
	10	保育グループから市長へ「附属保育施設についての要望書」
	3	市長と本多児童館内へ公民館保育室の設置についての覚書を交わす
73/S48	4	恋ヶ窪公民館開館
74/S49	5	本多児童館内に公民館保育室設置
	5	恋ヶ窪で主催講座の保育を開始
75/S50		本多「保育室を考える会」定例化
	10	光図書館会議室(現公民館)開館(専用保育室設置)
77/S52	1	第16回東京都公民館大会に「保育室分科会」が設けられる
	3	本多『母と子のひろば』発行
78/S53	4	光公民館条例設置
	9	もとまち公民館開館(専用保育室設置)
	10	光のグループが「自主グループ保育者賃金に関する要望書」提出
	2	光保育室だより『陽だまり』創刊
79/S54		本多『保育室だより』創刊
		第18回東京都公民館大会で国立市が『学習としての託児』のレポート
80/S55		恋ヶ窪自主グループ保育開始
	2	第19回東京都公民館大会(国分寺市で開催)で国分寺市がレポート
		四館の保育者合同研修開始
	3	もとまち保育室だより『めだか』創刊

年度	月	主なできごと
81/S56	7	本多公民館改築のため仮設へ移転
82/S57	9	光の自主グループから「保育者賃金増額要望書」
	12	もとまちの自主グループから公民館保育室保育者賃金増額に関する陳情(⇒採択)
83/S58	7	本多公民館改築完成(専用保育室設置)
	12	行財政改革案出る
	12	四館自主グループ合同の「公民館保育室に関する陳情」(⇒採択)
	3	本多『保育室のあゆみ』創刊
84/S59	6	国分寺市公民館のつどいで「公民館保育室から学んだもの」のレポート
	10	恋ヶ窪公運審「恋ヶ窪公民館の保育室のあり方について」答申
86/S61	10	四館保育室利用グループから並木公民館建設検討委員会へ専用保育室設置についての要望書(1月に教育長あてにも再提出)
	11	北部地区公民館(現並木公民館)の建築原案に保育室が図書館のおはなし室と兼用案が出される
	1	もとまち公運審「婦人の学習と公民館保育室」答申
	3	恋ヶ窪の自主グループ「専用保育室設置(和室)改築予算に関する陳情」(⇒採択)
87/S62		恋ヶ窪の和室を保育室にも使用しやすいように改装
88/S63	8	並木公民館開館(専用保育室設置)
	3	光公運審「保育室貸し出しの基本的な考え方」提言
89/H1	11	光『公費保育外利用規程』作成
		五館の公民館保育室利用者の「国分寺市公民館保育室の会(五館の会)」発足
	12	もとまち公運審「もとまち公民館保育予算の見積書通りの実現に関する要望書」
90/H2	11	「国分寺市公民館保育室の会」から教育長へ保育者賃金増額要望書提出
93/H5	4	保育者賃金予算五館合計10,121,000円
94/H6	4	保育者賃金予算五館合計10,121,000円
	通年	光公民館増改築中は公民館は仮設に移転し、保育は西町プラザ・ひかりプラザ・西町体育室を使用
95/H7	4	光公民館改築完成(保育室改装)
	5	五館保育室利用者「公民館保育室予算に関する陳情書」
96/H8	4	保育者賃金予算が主催と自主グループに分けて計上される
	12	行政改革検討委員会中間答申出される(保育の利用者負担)

年度	月	主なできごと
97/H9	7	国分寺市行政改革の推進について(答申)
	11	五館保育室利用者の会「行政改革実施計画案(自主保育の有料化等)への要望書」
98/H10	6	行政改革実施計画
		①自主グループにおける保育は参加者の一部負担や子育て支援の見地から検討 ②公民館保育室の一般開放
	3	公民館体制検討委員会の報告
99/H11	9	『国分寺市立公民館保育室運営規程』制定
00/H12	4	『国分寺市立公民館保育室使用実施細目』制定
01/H13	4	4年連続保育者賃金予算 五館合計6,893,000円に
	12	“けやきの広場”の一環として「国分寺の公民館保育30周年記念のつどい」開催
06/H18	4	保育者賃金予算の一本化で計上される
09/H21		五公民館で耐震工事を中心とした改修工事实施。保育室活動は休館中縮小
10/H22	4	恋ヶ窪公民館に保育室設置 それにともない実施基準一部改正
11/H23	11	保育室活動40周年記念事業開催
12/H24	4	事業費50%削減に伴い保育賃金削減
14/H26	4	5回未満の短期講座にも託児をつける
16/H28	5	『国分寺市立公民館保育室運営規程』と『国分寺市立公民館保育室使用実施細目』をまとめて『国分寺市公民館保育室事業実施要綱』に改定
20/R2	4	保育者「時間額会計年度任用職員」となる
		幼い子のいる親のための教室が東京都の補助金を受けて開催 (次年度も継続)
		新型コロナウイルスの拡大防止のため、保育室の定員の削減・おやつを取りやめなど対応を図る (次年度も継続)
		新型コロナの緊急事態宣言を受け、事業の途中中断、中止、オンラインでの開催
21/R3	12	保育室活動50周年記念事業開催

2. 五館保育・託児付き主催事業

本多公民館保育室関係事業一覧

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
71/S46	教育講座	6	日本の教育はどうなるか	持田栄一	
72/S47	教育講座	6	再び日本の教育を考える	大橋謙策	
	成人歴史講座	8	明治維新と現代	川村善二郎	
	国分寺の社会教育を考える市民のつどい	1	社会教育における保育について 他	伊藤雅子 他	社会教育における保育を考える会のうち保育グループへ
73/S48	保育講座	8	乳児から乳児に至るまでの保育を考える	久保田 浩	つくしグループ
	教育講座	9	子どもの勉強・学力	山住正己	
74/S49	幼児教育講座	10	子どもの生活を見直してみよう 教育のあり方	一番ヶ瀬康子	
	地方自治講座	10	子どもの生活環境を考える	三吉 達 他	
	教育講座	9	教育のあり方	永畑道子 他	
	手作り遊具教室	6	作成	及部克人	
75/S50	幼児教育講座	13	自然の中の遊び	渡辺 明 他	
	ペープサート	5	母と子のはなしの世界	永柴孝堂	
	陶芸教室	10	湯呑み 等	谷田成雄	
	教育講座	9	親の教育観を考えてみよう	小林文人	
	自治問題講座	5	日本経済と私達の暮らし	工藤芳郎	
	柳田国男を考える	7	生い立ち	宮田 登	
76/S51	手作り絵本教室	7	絵本づくり	瀬名恵子	
	幼児教育講座	11	子どもの目で…	久保田 浩 他	
	教育講座	6	今子どもたちはどのような人間に そだっているのでしょうか	遠藤豊吉 他	
	婦人問題講座	6	今、おんなは…	吉武輝子	
	文学講座	8	今昔物語集	川本信幹	
	歴史講座	9	昭和史	川村善二郎	
	地方自治講座	8	まちづくりの主人公に	田辺敏郎	
	婦人学級講座	6	主婦と法律	中島通子	
	幼児教育講座	10	見直そう子どもと親の関係	羽仁説子 他	ゆずり葉
76/S51	人形劇講座	18	手作り人形劇	人形劇団ブーク	人形劇グループ
77/S52	地方自治講座	6	私たちの暮らしと地方自治	高木鉦作 他	
	歴史講座	9	近代日本の女性史	西村汎子	
	教育講座	5	ほんとうの学力とは	後藤重三郎	
	婦人学級講座	6	私たちの老後を考える	林 千代 他	
78/S53	幼児教育講座	13	幼児の心と体を考えよう	岡本富郎	
	戦後史講座	10	戦後日本と私たち	川村善二郎	
	地域を考える講座	15	私たちのまちの学習活動と地域の教育を考える	酒匂一雄 他	

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
79/S54	公民館を考える	5	本多の改築にむけて	岡本包治 他	
	歴史講座	11	日本の近代化について	川村善二郎	
	地域を考える講座	15	子どもの生活と地域	斉藤次郎 他	
	きり絵教室	5	制作	木本有太可	ゆうぎり
80/S55	幼児教育講座	20	今子どもを育てること	谷内真理子	風花
	地域を考える講座	13	子育てと地域	太田政男 他	
81/S56	若い母親のための教室	15	今子どもを育てること	谷内真理子	しゃべっていい友
	地域を考える講座	12	子どもを育てることと地域	末本誠	
82/S57	若い母親のための教室	15	今子どもを育てること	谷内真理子	スクランブルエッグ
83/S58	若い母親のための教室	15	今子どもを育てること	谷内真理子	いっつみい
84/S59	若い母親のための教室	15	子どもを育てることと母親の生き方	谷内真理子	ホップステップジャンプ
	地域を考える講座	8	くらしと子育て	長浜 功	
	人形劇講座	10	簡単な人形づくり	高木政則	
85/S60	若い母親のための教室	20	子どもを育てることと母親の生き方	谷内真理子	おにおんず
	地域を考える講座	8	子どもの生活・学校・家庭	青木 悦 他	
86/S61	若い母親のための教室	20	子どもを育てることと母親の生き方	谷内真理子	おひさまごろう
	地域を考える講座	10	国分寺のまちづくりを考える	日下部禎代子他	
	子ども文化講座	7	手作りおもちゃ	小山博司	
87/S62	若い母親のための教室	20	子どもを育てることと母親の生き方	田中スウラ	ひつじ組
	切り絵入門教室	9	切り絵への誘い	木本有太可	
88/S63	若い母親のための教室	20	子どもを育てることと母親の生き方	田中スウラ	ぞうさんのしっぽ
	パステル画教室	10	実習	伊庭野 肇	
89/H1	若い母親のための教室	20	子どもを育てることと母親の生き方	向井承子 他	わっほは 輪母の会
	透明水彩画教室	10	基本からの講習	河野興二	
90/H2	若い母親のための教室	16	親・子	鈴木みゆき 他	たあとる
	刻字教室	10	制作(原木に好きな言葉を彫る)	蔵元訓征	
91/H3	母と子の教室	20	たのしい子育てにむけて	いのうえせつこ	アンダンテ
	人形劇	12	つくって演じて楽しんで	山根宏章 他	
92/H4	母と子の教室	21	親と子・あらたなる仲間発見を求めて	いのうえせつこ	こんぺいとう
	絵本と語りの講座	10	子どもの心を育てるために	櫻井美紀	QPクラブ
93/H5	母と子の教室	21	子どもを見つめる眼を確かなものに	いのうえせつこ	P&C
	ビデオ教室	10	ホームビデオを充実させよう	楠かつり	
94/H6	母と子の教室	20	自分の想い 出し合ってみませんか	いのうえせつこ	くまさん ²
	手作りおもちゃ教室	10	ぬくもりのあるおもちゃ	多田千尋 他	おもちゃクラブ
95/H7	母と子の教室	21	子どもも自分も大切に暮らしを目指して	鈴木由美子	ライフ

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
96/H8	母と子の教室	30	地域で仲間と暮らす	鈴木由美子	けやきネット ⇒クローバー
97/H9	母と子の教室	21	仲間とともに今をみつめる	山口遼子	Beans ⇒クローバー
98/H10	母と子の教室	22	子どもと暮らしからみつめる	山口遼子	ポレポレ
99/H11	母と子の教室	28	自分の時間を取り戻し暮らしを見つめる	山口遼子	パステル
00/H12	母と子の教室	22	子どもが幼い時の暮らし	堀江まゆみ	ぶんぶん ⇒カプチーノ
01/H13	母と子の教室	25	子どもとともに自分を育てる	キムエキ 金愛慶	もこもこ ⇒カプチーノ
02/H14	幼い子のいる女性のための教室	23	ひとりじゃないよ、みんなで考えよう！	堀江まゆみ	あんぶりん
03/H15	幼い子のいる女性のための教室	19	自分を知り、仲間と学ぶ	キムエキ 金愛慶	まんぐる〜ぶ
04/H16	幼い子のいる女性のための教室	21	仲間とともに子どもの育ちを見つめる	キムエキ 金愛慶	きら ²
05/H17	幼い子のいる女性のための教室	21	子育てについてともに語り合おう	キムエキ 金愛慶	はびねす
06/H18	幼い子のいる女性のための教室	20	子どもの育ち・大人の暮らし	高田文子	Wish
07/H19	幼い子のいる親のための教室	20	子どものいる暮らし、今と未来	高田文子	とことこ
	講座・子どもの育ちを考える	8	もうすぐ幼稚園ーいま大事にしたいこと	霜出博子 岡本正子	
	保育室学習会 本多公民館で 保育室活動をしたあなたへ	1	みんなで話そうよ… ～自分にとっての“活動”の意味を考える～	なし	
08/H20	幼い子のいる親のための教室	20	子どものいる暮らし	高田文子	色えんぴつ
09/H21	幼い子のいる親のための教室	20	子どもと自分の暮らしを考えよう	高田文子	ひまわり
10/H22	幼い子のいる親のための教室	20	子どものいる暮らしを仲間と考えよう	金田利子	マカロン
11/H23	幼い子のいる親のための教室	20	子どものいる暮らしを仲間と考えよう	高田文子	ルピナス
12/H24	幼い子のいる親のための教室	20	子どもとの生活を仲間と考えよう	高田文子	しゃぼん玉
13/H25	幼い子のいる親のための教室	17	子どもの成長・親の成長	高田文子	カンガルー
14/H26	幼い子のいる親のための教室	13	子どもの成長 親の成長	佐久間路子	てんとうむし
	童話作家に学ぶ絵本作り講座	11	子どもや家族への気持ちを絵本にしませんか	赤羽じゅんこ	くれよん
	グループとの共催事業	2	子どもがいる暮らし 非常時に備えよう	消防署員	
	グループとの共催事業	2	子どもの心を豊かにする絵本の力	図書館職員	
15/H27	幼い子のいる親のための教室	13	子どもの成長 親の成長	佐久間路子	はらぺこ
	童話作家に学ぶ絵本作り講座	11	子どもや家族への気持ちを絵本にしませんか	赤羽じゅんこ	ひだまり
	グループとの共催事業	2	豊かな子育てのために	菅野昭子 他	
	グループとの共催事業	2	子どもの育ちと親のかかわり	高田文子	
16/H28	幼い子のいる親のための教室	13	子どもの育ちと親のかかわり	佐久間路子	ぼつぼ
	子どもと“食”を考える講座	11	作って、食べて、考えて	近藤陽子	
	布の絵本づくり講座	5	作る喜びと読む楽しさを	渡辺順子	
	グループとの共催事業	2	「片付け」から暮らしを見つめる	岡本康太郎 源 証香	
	グループとの共催事業	2	「親力」を育むために	親野智可等	
17/H29	幼い子のいる親のための教室	13	子どもは友達と遊び、私は仲間と語り合う	佐久間路子	わんわん
	子育て関連講座	11	絵本と子育て	須山優子 小保方晶子 他	ぐりぐら

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
17/H29	文化講座	10	景色や人物の魅力を撮る	石田美菜子	
	コミュニケーション講座	5	伝えていますか 自分の気持ち	寺地典子	
	グループとの共催事業	2	どうすれば自信のある子に育つのか	大河原美以	
18/H30	幼い子のいる親のための教室	13	親も子も、輝いて生きるための教室	伊藤美佳	Good&New
	子育て関連講座	11	子どもとおやつ	岡本正子 高橋佳世子	ばんけーき
	防災講座	3	地域で考えるイザという時の備え	浅野幸子 他	
	グループとの共催事業	2	親も子も「のびやかに暮らす」	木村宣貴 奥富裕司	
	グループとの共催事業	2	すくすく・のびのび子育てしよう	廣澤満之 汐見稔幸	
19/R1	幼い子のいる親のための教室	13	親と子がともに育ち合う	柿澤一二美	いろどり
	子育て関連講座	11	時短料理と子育て	近藤陽子 高橋佳世子	パブリカ
	共催事業	2	子どもの遊びと発達	伊藤美佳	
	共催事業	2	子どもの自立を促す子育て	熊野英一	
20/R2	幼い子のいる親のための教室	16 (10)	親と子がともに育ち合う	柿澤一二美	レインボー
	子育て関連講座	11	みんなで話そう 時短レシピと子育て	近藤陽子 高橋佳世子	はちみつ
	防災講座	2 (0)	子育て中の防災を学ぼう	富川万美	コロナウイルス感染症 対策のため中止
	公民館を考える講座	2 (0)	人と人のつながりを考える	柴田彩千子	
21/R3	幼い子のいる親のための教室	16	子どもが育ち、私も育つ	柿澤一二美	いちごいちえ
	子育て関連講座	12	話そう 時短レシピと子育て	近藤陽子 平出美栄子	ルセット
	防災講座	1	子育て中の防災を学ぼう	富川万美	
	共催事業	2	乳幼児期の子どもと親のあり方	汐見稔幸 他	
	共催事業	2	家庭ではじめる性教育	高橋幸子	

恋ヶ窪公民館保育室関連事業一覧

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
74/S49	公害講座	7	私たちの生活と公害	宇井 純	
	教育講座(春)	6	現代社会と家庭教育	遠山 啓	
	教育講座(秋)	8	いきいきした子どもの成長を願って	西 秀夫	
75/S50	教育講座	9	子供の発達の保障をめぐる	浅川道夫	
	公害講座	9	身近な公害を考える	近藤完一	
	講座現代社会と非行	8	非行とはなんでしょうか 他	成田文彦 他	
	講演会	3	婦人問題と教育	藤井治枝	
76/S51	教育講座	8	現代の子どもと教育	野村東助	
	やさしい福祉講座	8	私たちにとって福祉とは 他	大橋謙策 他	
	講座「家族」	8	考えてみませんか「家族」	山村 健	
	公害講座	9	家族の健康と公害	有田 勉	
77/S52	公害講座	9	私たちの健康と環境	竹下隆三	

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
77/S52	生活技術講座	4	じんべい作り	戸塚妙子	
	婦人問題講座	9	家庭から社会へ	長谷川知子	
	文学講座	12	文学講座へのお誘い	山蔦 恒	
	教育講座	9	自立して生きる力をつけるために	矢野寿男	
	講演会	1	景気と円高	吉永 実	
78/S53	教育講座	8	いきる力を考える	なだいなだ	
	福祉講座	8	こどもと福祉	大橋謙策	
	婦人問題講座	8	家庭から社会へ	広田寿子	
79/S54	教育講座	5	能力と発達と学習について	田中孝彦	
	心理学講座	8	子どもの発達と心理	福富 護	
	婦人問題講座	8	家庭を問いなおす	佐藤慶子	
	生活講座	7	今、子どものからだは	阿部茂明	
	歴史講演会	1	古代武蔵国の政治と庶民の生活	滝口 宏	
80/S55	婦人問題講座	9	社会の中の婦人問題	武田京子	
	生活講座	7	やさしい栄養学	内藤敬子	
	心理学講座	8	思春期～青年期の発達と心理	福富 護	
	教育講座	9	高校生の生活と学力	藤岡貞彦	
81/S56	教育講座	6	基礎学力と中学時代	三井大相	
	婦人問題講座	14	さわやかな中年期のために	漆田和代	
82/S57	講座育児期を考える	12	子どもを発見すること	三上康子	
83/S58	教育講座	13	子どもの心の発達	武田京子 他	
84/S59	教育講座	13	子どもの発達のみちすじ	武田京子 他	
85/S60	教育講座	13	子どもからの出発	武田京子 他	ほうき星
86/S61	教育講座	13	育児期の暮らしと成長	林 緑 他	スイミー
87/S62	教育講座	16	子どもの認識・体験・なかま	斎藤菊代	さくらんぼ
88/S63	母と子の教室	20	幼い子どもを育てる日々を見つめ直してみませんか	折井美那子	飛行船
89/H1	母と子の教室	20	幼い子どもを育てる日々を見つめ直してみませんか	折井美那子	飛鳥
90/H2	母と子の教室	20	幼い子供を育てる日々	川田文子	林檎組
91/H3	母と子の教室	20	幼い子を育てる暮らしを見つめ直してみませんか	川田文子	ニコニコつくしんぼ
92/H4	母と子の教室	20	子どもを育てる日々を見つめ地域に友人を作ろう	川田文子	マザーズクラブ
93/H5	母と子の教室	20	初めての子どもを育てているおかあさんへ	橘 由子	テディ・ママ
94/H6	母と子の教室	20	公民館保育室に子どもを預け教室で学んでみませんか？	橘 由子	ふうせん
95/H7	母と子の教室	20	考えてみませんか？子どもとの暮らし、自分自身のこと	川田文子	ぼけっと
96/H8	母と子の教室	20	自己表現のトレーニングをしてみませんか	紫恒幸子	ぶー・ふー・うー
97/H9	母と子の教室	20	子どもも私もいきいきと暮らすために	曾田薫子	くれよん

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
98/H10	母と子の教室	20	仲間といっしょに生きる	紫垣幸子 広江悦子	たんぼぼ
99/H11	母と子の教室	20	自分のこと子どものことを話し合える関係になるために	川田文子	ふたば
00/H12	母と子の教室	20	考えてみませんか？ 子どもとの暮らし、自分自身のこと	山口遼子	クローバー
01/H13	母と子の教室	20	子育て・自分自身一緒に考えよう	山口遼子	こるり
02/H14	幼い子のいる女性のための教室	20	自分・子ども、自立の一步を	山口遼子	バニラ
03/H15	幼い子のいる女性のための教室	20	きらきらお母さんすくすく子どもたち	岡本公子 他	クロッシュ・M
04/H16	幼い子のいる女性のための教室	15	きらきらお母さんすくすく子どもたち	岡本公子	ポレポレ
05/H17	幼い子のいる女性のための教室	19	新しい子育てのスタイルを考えてみませんか	渡辺美恵子	すくすく
06/H18	幼い子のいる女性のための教室	20	共に新しい子育てスタイルを考えてみませんか	渡辺美恵子	スリープ 美麗心
07/H19	幼い子のいる親のための教室	20	心と身体をリフレッシュ	岡本公子	ポプラ
08/H20	幼い子のいる親のための教室	20	身体を動かし元気アップ	岡本公子	アミカ
09/H21	幼い子のいる親のための教室	19	身体を動かしリフレッシュ	岡本公子	たんでんず
10/H22	幼い子のいる親のための教室	20	子どもの遊びを通じて	吉川良子	モーネ
11/H23	幼い子のいる親のための教室	20	子どもにとって大切なこと	吉川良子	すぷらうと
12/H24	幼い子のいる親のための教室	15	絵本やわらべ歌からみえてくるもの	吉川良子	ニコさん
13/H25	幼い子のいる親のための教室	15	絵本やわらべ歌のチカラ	吉川良子	アンパンママ
14/H26	幼い子のいる親のための教室	16	子どものころ・親のころ	岸田禮子	ともとも
	託児付きアロマ講座	1	初めてのアロマクラフト	樋口万里	
	託児付きライフマネープラン講座	1	増税の今こそチャンス 目からうろこの家計見直し術	清水京武	
	ジュニアサロン子ども教室	1	レッツエンジョイ英会話	関口由子 山影まゆみ	
	託児付き子育てコーチング講座	1	子ども達を伸ばす親の関わり方	藤田 潮	
	託児付き 子育て防災講座	1	子どものいのちを守る親になる	掃部まゆ 他	
15/H27	幼い子のいる親のための教室	16	子どものころ・親のころ	岸田禮子	ママモアゼル
	保育室グループとの共催講座	2	カラーマジック講座 色で学ぶ私と子どもの心理	タカバタケイクミ	
	保育室グループとの共催講座	2	親と子のためのコーチング	藤田 潮	
	保育室グループとの共催講座	2	ハーブのある暮らしで心豊かに	齊藤庸子	
	ジュニアサロン子ども教室	1	託児付きおこづかい講座	鈴木さや子	
16/H28	幼い子のいる親のための教室	16	子どもの育ち・家族と私の暮らし方	岸田禮子	あさがお
	託児付き講座	3	これからの私を考える講座	坂本照子	
	アンガーマネジメント講座	2	イライラの消しゴムを手に入れよう	高田しのぶ	
	グループとの企画事業	2	家族で防災講座	宮丸みゆき 後藤悦子	
	グループとの共催事業	1	ストレスフリーなお片付け講座	梶ヶ谷陽子	
17/H29	幼い子のいる親のための教室	16	ころ・からだ・コミュニケーション	ウィメンズサポート オフィス 連	オレンジ
	託児付き事業	4	スクラップブック講座	橋田サマリ	ちよきちよきず
	保育室グループとの連携事業	2	子どもと親の絆を深める「CARE(ケア)」	福丸由佳	

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
17/H29	託児付き防災講座	1	ママと地域を繋ぐ防災ワークショップ	防災安全課職員	
	親子向け防災講座	1	アウトドアから学ぼう！親子防災の知恵	あんどろ りす	
18/H30	幼い子のいる親のための教室	16	子どもとともに「私」も育つ	ウイメンズサポート オフィス 連	恋mama
	保育室グループとの連携事業	2	スクラップブック講座	橘田サマリ	
	保育室グループとの連携事業	2	子どもの脳の発達と行動	茂木厚子	
	親子向け防災講座	2	いざという時のトイレやごはんのお話	大里宣之 防災グループたんぼぼ	
19/R1	幼い子のいる親のための教室	16	自分らしく生きるために	ウイメンズサポート オフィス 連	ミモザ
	子育て関連講座	7	もっと知りたい 子どもと遊びの世界	福元真由美	
	託児付きアカペラ講座	5	GO・GO・ゴスペル	野呂愛美	Zuccherato Choir
	連携事業	3	入園・入学グッズを手づくりしよう	保育グループ オレンジ	
	連携事業	2	五感で育む 子どものココロとカラダを豊かにする食事	山口真弓	
	バルーンアート講座	2 (0)	ふうせんっておもしろい	山本幸子	コロナウイルス感染症 対策のため中止
20/R2	幼い子のいる親のための教室	16	子育てしながら自分も育つ	石川文子 西田奈緒子	NAP
21/R3	幼い子のいる親のための教室	16	子どもを育て自分も育てよう	石川文子 西田奈緒子	ココロフレ

光公民館保育室関係事業一覧

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
76/S51	子どもを考える講座	6	健やかな成長のために	竹内音治 他	
77/S52	漢詩入門講座	6	唐詩の心	石川忠久	桃源詩会
	教育講座	9	教育の歴史	中野 光	
	在宅幼児を考える会	1	ひとりぼっちあつまれ！	なし	ピッコロ
78/S53	児童文学講座	8	児童文学の世界	代田 昇 他	ぐるうぶ・めるへん
	音楽講座	10	身近な楽器をもちよって アンサンブルを楽しもう	後藤寿美	アンサンブル碧空
	教育講座	9	家庭と子どもの関わり ～父親・母親の心構え	渡辺益男 他	
79/S54	音楽講座	10	合奏で音楽のよろこびを	後藤寿美	
	児童文学講座Ⅱ	9	幼年童話の世界	渋谷清視 他	ころぼつくる
	教育講座	13	PTA入門	永畑道子 他	
80/S55	教育講座	10	子どものしあわせと教育	小川博久	つくしの会
	住民自主講座	8	愛と自立を描く子どもの文学	渋谷清視 他	
	婦人問題講座	6	わたしと婦人問題	木村 栄	
81/S56	婦人問題講座	10	人間関係の広がり求めて	西村由美子	サークル視点
	生活問題講座	7	食べることを通して健康を考える	増尾 清 他	光生活グループ
	歴史講座	10	私たちにとって近代史とは？	小松良郎 他	歴史の会
82/S57	女の生き方を考える講座	8	人生80年時代を見つめる	柴山恵美子	女の生き方を考える会
	生活問題講座	6	食品添加物の実態を知ろう	武田玄吾	
	講座	7	現在の平和を考える	高橋弘殷	(現在の 平和を考える会)

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
83/S58	乳幼児期の子育て	9	初めての子育てのひとへ	小川清実	
	歴史の中の教育	11	教育のめざした人間像	小野征夫	
84/S59	乳幼児期の親子関係をもつめる	16	子育ての現実をふりかえる	木村 栄 他	どろんこ
85/S60	幼い子を育てている人の教室	21	子どもを育てながら自分を生きる	折井美耶子	
86/S61	幼い子を育てている人の教室	20	人間らしい生き方を求めて	橋本紀子	あひるの行進 ⇒メロディ
87/S62	幼い子を育てている人の教室	20	子どもとの関わりを考える	小沢牧子	ハッピートーク
88/S63	子どもと自分のための教室	20	閉ざされた子育てを開くために	小沢牧子	いちごクラブ
89/H1	若い母親のための教室	20	子どもを人間として大事にするために	高村瑛子	TOGETHER
90/H2	幼い子を持つ母親の教室	15	母も子も人間らしく育ち合うために	谷内真理子	チャレンジ
91/H3	幼い子を持つ母親の教室	18	母も子も育ち合うために	谷内真理子	つみき
92/H4	幼い子を持つ母親の教室	18	母も子も育ち合うために	青木 悦	スパイス
93/H5	生活日本語教室	34	楽しく日本語を学びませんか		
	幼い子をもつ母親の教室	20	母も子も育ち合うために	青木 悦	バレット
94/H6	生活日本語教室	35	楽しく日本語を学びませんか		
	幼い子をもつ母親の教室	20	母も子も育ち合うために	青木 悦	ティポット
95/H7	生活日本語教室	34			
	幼い子をもつ母親の教室	19	母も子も育ち合うために	青木 悦	
96/H8	生活日本語教室	35			
	幼い子をもつ母親の教室	17	母も子も育ち合うために	高橋道子	たんぼぼ
97/H9	生活日本語教室	37			
	幼い子をもつ母親の教室	20	母も子も育ち合うために	高橋道子	チューリップ
98/H10	生活日本語教室	37			
	母と子の教室	23	幼い子との暮らしを考える	藤村美津	てくてく
99/H11	生活日本語教室	35			
	母と子の教室	22	仲間とともに暮らしをつくる学びを	藤村美津	マーブル
00/H12	生活日本語教室	37			
	母と子の教室	21	仲間とともに暮らしをつくる学びを	藤村美津	わおん 和音
01/H13	母と子の教室	22	子どもと一緒に大きくなろう 子どもの成長・大人の成長	高橋道子	なべっこ
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	38			
02/H14	幼い子のいる女性のための教室	20	子どもも親もはじめての一步 地域の子育てを知ろう	高橋道子	Pee ka boo
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	24			
03/H15	幼い子のいる女性のための教室	20	子育てはみんなですればこわくない 地域の子育ていろいろ	高橋道子	バンビーノ
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	37			
04/H16	幼い子のいる女性のための教室	20	子育てのこと、一緒に話し合ってみませんか 我が家の子育て・隣の子育てをそしてみんなで子育て	高橋道子	アルゴリズム
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	35			

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
05/H17	幼い子のいる女性のための教室	20	子育て中の自分を見つめて	辻 智子	ALICE@パーク
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	37			
06/H18	幼い子のいる女性のための教室	20	子育て中の自分を見つめて	辻智子	ぱれっと
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	37			
07/H19	幼い子のいる親のための教室	20	子育てのこと考えてみませんか	辻 智子	ぐんぐん
	心理学講座	6	自分の気持ち、子どもの気持ちを学びませんか	新屋恭子	
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	39			
08/H20	幼い子のいる親のための教室	20	子育て・自分育て	辻 智子	メロディ
	親子育て講座	7	楽しい子育てをするために	濱田純子 他	メルヘンランド
	外国人のための生活日本語教室 (秋・冬)	24			
09/H21	幼い子のいる親のための教室	20	親と子のつながり	佐野育子	楓
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋)	36			
10/H22	幼い子のいる親のための教室	20	私と子どもと仲間	佐野育子	Bumble bee
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	37			
11/H23	幼い子のいる親のための教室	20	子どもを育て 自分を育てる	近藤牧子	みるふいーゆ
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	35			
12/H24	幼い子のいる親のための教室	20	子どもを育て 自分を育てる	近藤牧子	Luce
	外国人のための生活日本語教室 (春・秋・冬)	32			
13/H25	幼い子のいる親のための教室	20	子どもを育て 自分を育てる	近藤牧子	くれよん
14/H26	幼い子のいる親のための教室	17	子どもを育て 自分を育てる	近藤牧子	ひかりSMILE
	防災学習会	7	震災に負けないまちづくりを目指してⅡ	野元弘之 他	
	働くママへのごほうび講座	4	毎日をしなやかに生き抜こう	近藤牧子 他	
14/H26	お父さん応援講座	1	自宅のできる こだわり燻製作り	高林千尋	
	お父さん応援講座	4	楽しもう俺流 男の生き方・暮らし方	田中俊之	俺流
	住民自主講座	1	体験コラーージュ いやしと自己発見のワーク	葉原たか子	
	住民自主講座	1	子どもの幸せのために 親ができること	近藤牧子 他	
15/H27	幼い子のいる親のための教室	18	地域で育つ 親と子の暮らし	石山恭子	みかん
	防災学習会	7	震災に負けないまちづくりを目指してⅢ	野元弘之 他	
	働くママへのごほうび講座	5	毎日をしなやかに生き抜こう	近藤牧子 他	
	お父さん応援講座	4	話すのが楽しくなる 男の雑談力・会話術	白石邦明 他	
	住民自主講座	1	子どもの幸せのために 親ができること	近藤牧子	
16/H28	幼い子のいる親のための教室	18	地域で育つ 親と子の暮らし	石山恭子	Olive
	防災学習会	7	震災に負けないまちづくりを目指してⅣ	野元弘之 他	
	働くママへのごほうび講座	5	毎日をしなやかに生き抜こう	近藤牧子 他	
	お父さん応援講座	4	話すのが楽しくなる 男の雑談力・会話術	白石邦明 他	

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
16/H28	防災学習会	1	避難所でストレスなく過ごす	大里宜之	
	住民自主講座	1	ドリームマップ体験講座	山口有紀子	
	住民自主講座	1	毎日の子育てが楽になる ママの実践的防災講座	あんどうりす	
17/H29	幼い子のいる親のための教室	16	地域で育つ 親と子の暮らし	石山恭子	こぶしでまむ
	防災学習会	7	震災に負けないまちづくりを目指してV	野元弘之 他	
	お母さん応援講座	5	あなたらしく輝くために	藤原里美 他	
	お父さん応援講座	4	みんなから「モテる男」の会話術	白石邦明 他	
	住民自主講座	2	子育てに絵本を	八重幡典子	
	健康講座	1	身体を知って薬を賢く使おう	金子仁久	
18/H30	幼い子のいる親のための教室	16	地域で育つ 親と子の暮らし	石山恭子	らふらふ
	防災学習会	7	災害に負けないまちづくりを目指して	野元弘之 他	
	家族応援講座	3	パートナーと一緒に	金子清美 他	
	健康講座	2	身体を知って薬を賢く使おう	金子仁久	
	住民自主講座	1	幼児のヘアカット&ママの ヘアアレンジ	田倉克健	
	地域還元講座	1	入園入学の袋物作り	光洋裁(公民館活動グループ)	
19/R1	幼い子のいる親のための教室	17	地域にひらく 親と子の育ち	石山恭子	ボレロ
	防災学習会	7	災害に負けないまちづくりを目指して	野元弘幸	
	子育て応援講座	3	パートナーと見つめる	青木千景	
	健康講座	2	身体を知って薬を賢く使おう	金子仁久	
	バリアフリー講座	1	LGBTについて考えよう	小林りょう子	
	住民自主講座	1	小さい子がいるおうちの「片付けのキホン」	岡本敦生 中村由紀	
20/R2	幼い子のいる親のための教室	20	地域とともに 親と子の育ち	伊藤加奈子	りふっと
	防災学習会	5	今こそ活かす 災害の知恵	野元弘幸 他	
	子育て応援講座	3	パートナーと学ぶ、創る	青木千景 他	
	バリアフリー講座	2	音のない世界をつなぐ	箭内秀平	
	健康講座	2	初めてエアロとやさしいヨガ	松浦博之	
	住民自主講座	1 (0)	アイメイク実践講座	福浜ゆきこ	コロナウイルス感染症 対策のため中止
21/R3	幼い子のいる親のための教室	20	地域でつながる親と子の暮らし	伊藤加奈子	
	地域における人権学習プログラム	6	写真で切り取る地域の現在	青山鉄兵 他	
	防災学習会	6	おうちで・地域でいま必要なこと	野元弘幸 他	
	お父さん応援講座	2	家族と一緒に	加藤征彦 国分寺消防署員	
	文化講座	2	わらで作ろうしめ飾り	棚橋早苗	
	自然講座	1	森のリース作り	真鍋百萌	
	住民自主講座	1	子育てママのための 骨盤リセットヨガ	曾根田しのぶ	
	住民自主講座	1	子どもと話そう いのちの話	村上まどか	

もとまち公民館保育室関連事業一覧

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
78/S53	連続講演会	4	公民館について	小林文人	
79/S54	幼児教育講座	10	幼児の生活をみつめなおす	久保田 浩 他	
	私と昭和史	11	前期	折井美耶子	
	手づくり文化教室	9	紙芝居をつくりましょう	川崎大治	グループ紙芝居
80/S55	幼児教育講座	10	親と子はく共育>	梅原利夫 他	みのりの会
	私と昭和史	11	後期～戦後編	折井美耶子	
	手づくり文化教室	10	影絵にチャレンジ!	後藤 圭 他	かけぼうし
81/S56	幼児共育講座	10	親と子が共に育つこととは	田中孝彦 他	あすなる
	私と日本近代史	11	明治維新と自由民権運動	川村善二郎	
	教育講座	8	子どもに生きる力を与えるための教育とは	梅原利夫	教育グループ
82/S57	幼児共育講座	12	子育てと母親の生き方を考える	渡辺 明	めばえ
	教育講座	8	子どもの求める心によって展開する学習とは	小松恒夫 他	おいもの会
83/S58	幼児共育講座	11	育つ子どもを支える親に	渡辺 明	カンガルー
	心と体の健康を考える講座	10	子どもからおとなまで心豊かに生きるために	行野外雄 他	
	おはなし教室	9	楽しく声を出しましょう!!	中島 研 他	おはなしの会
84/S59	幼児共育講座	10	子育てと母親の生き方を考える	鈴木佐喜子	色えんぴつ
85/S60	幼児共育講座	15	子どもを見る目をたしかなものに	鈴木佐喜子	メロンパン
	教育講座	14	今、真剣に生きていますか	室 俊司 他	わの会
86/S61	幼い子どものいるおかあさんへ	16	子育てと母親の生き方を考える	村田晶子	ひまわり
	教育講座	9	共に生きる人間関係を求めて	伊藤順康 他	⇒わの会
87/S62	幼い子どものいる母親の講座	16	子どもの育ちと今の自分自身をみつめる	村田晶子	きしゃぼっぽ
	教育講座	9	男と女 人間らしく生きるための教育を求めて	中藤洋子 他	教育グループ
88/S63	幼い子どものいる母親の講座	16	子どもの育ちと今の自分自身をみつめる	川田のり子	たんぼぼ
89/H1	幼い子のいる母親の教室	17	楽しい育児を目指して	三沢直子	童具箱
90/H2	幼い子のいる母親の教室	20	仲間との出会いを求めて	三沢直子	ママミーヤ
91/H3	幼い子のいる母親の教室	20	充実した日々を目指して	三沢直子	しゃぼんだま
92/H4	幼い子のいる母親の教室	20	母となった自分を見つめる	池田祥子	しゅうくりむ
93/H5	幼い子のいる母親の教室	20	幼い子のいる暮らしを豊かに	池田祥子	ひこうせん
94/H6	幼い子のいる母親の教室	21	「女性の時代」を超えて	山下悦子	オムレツ
	女性文学講座	9	時代を生きる女たち	山本千恵	
95/H7	幼い子のいる母親の教室	22	大人も子どもも育つ暮らしを	曾田薫子	アップル
	女性問題講座	8	自分の名前で生きること	折井美耶子	
96/H8	幼い子のいる母親の教室	19	子育て仲間と明日の物語をつくろう!	曾田薫子	ひまわり
	女性問題講座	7	母性神話を問い直す	服藤早苗	

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
97/H9	母と子の教室	20	子どもを育てる暮らし	桜井由幾	カモミール
	女性問題ゼミナール	10	子育て仲間と明日をひらこう	曾田薫子	
98/H10	母と子の教室	18	母も子も自立して元気に	桜井由幾	⇒カモミール
	女性問題ゼミナール	9	子育て仲間と明日をひらこう	桜井由幾	
99/H11	母と子の教室	20	深呼吸して 子育て・自分育て	北村年子	しんこきゅう
	女性問題ゼミナール	9	地域で楽しい子育てを！	桜井由幾	
00/H12	母と子の教室	18	深呼吸して 子育て 自分育て	北村年子	おひさま
01/H13	母と子の教室	19	リラックスして子育て・自分育て	北村年子	MUT
02/H14	幼い子のいる女性のための教室	18	リラックスして子育て・自分育て	北村年子	COCO
03/H15	教育講座	8	学ぶってどういうこと	有賀政夫 他	
	幼い子のいる女性のための教室	19	今、そしてこれからを見つめて	浜 文子	おもちゃ箱
	親子のエンジョイライフ	8	絵本・語り・手遊び・おもちゃの魅力に触れる	大森典子 他	
04/H16	幼い子のいる女性のための教室	18	親になるってどういうこと	浜 文子	ぐーちーぱー
	教育講座	12	地域で子どもを育てる	河野正一郎 他	
05/H17	幼い子のいる女性のための教室	18	自分らしい子育てスタイルを仲間と共にみつけよう	長澤恵美	バンビーナ
06/H18	幼い子のいる女性のための教室	20	子どもが幼い時期を楽しむために	長澤恵美	⇒バンビーナ
	幼い子のいる女性のためのピラティス	9	ピラティスマットエクササイズ	河野由紀	ママティス
07/H19	幼い子のいる女性のための教室	20	子どもたちの育ちを考える	北村洋子	トイズ
08/H20	幼い子のいる親のための教室	20	地域で子育て仲間をつくろう	北村洋子	Pti*Pti
09/H21	幼い子のいる親のための教室	20	仲間と過ごす学びの時間	北村洋子	ゆいま〜る
10/H22	幼い子のいる親のための教室	20	地域の子育て仲間と話そう	土肥康子	WOMAMA
11/H23	幼い子のいる親のための教室	20	地域の子育て仲間と話そう	土肥康子	こどもと
12/H24	幼い子のいる親のための教室	18	地域の子育て仲間と話そう	安治陽子	ママペース
13/H25	幼い子のいる親のための教室	17	地域の子育て仲間と話そう	安治陽子	ココカラ
14/H26	保育付子育て講座	5	赤ちゃんと楽しむ手作りおもちゃ	菊池貴美江	
	幼い子のいる親のための教室	13	ぼちぼち・子育て・親育ち	安部芳絵	ぼちぼちず
	保育付事業	5	子育て応援講座	こころの東京革命協会アドバイザー	
15/H27	子育て関連講座	5	地域で子育て・孫育て	棒田明子 他	
	幼い子のいる親のための教室	13	子育て中こそライフプランニング	新井浩子	アンカーズ
16/H28	保育付講座	12	子育て中こそ『私の』ライフプランニング	新井浩子	
	幼い子のいる親のための教室	13	子どもを育て、自分を育てる	竹内麻子	ナンバーズ
	絵本セラピー講座	2	大人にも絵本を—あなたのために読む絵本—	勝田裕子	
	グループ企画事業	1	家族の笑顔をふやそう—パパの育児常識改革—	新井浩子	
17/H29	幼い子のいる親のための教室	13	子どもを育て、自分を育てる	竹内麻子	リーフ
	託児付き子育て講座	3	地域でイキイキ暮らそう	新井浩子 他	

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
17/H29	保育付講座	12	子育て中こそ『私の』ライフプランニング	新井浩子	もんちゅち
18/H30	幼い子のいる親のための教室	16	自分も家族もずっと幸せに過ごすには	竹内麻子	クレヨン
19/R1	幼い子のいる親のための教室	15	子どもを育て、自分も育てる	竹内麻子	フルール
	グループ企画事業	1	子どもの心の声を聞いてみませんか	西脇さやか	
	子育て関連講座	2 (0)	子育てが楽になるコミュニケーション術	大久保庸子	コロナウイルス感染症 対策のため中止
	託児付き大人の発達障害講演会	1 (0)	発達障害の強みを活かす	小野和哉	
20/R2	幼い子のいる親のための教室	16	自分らしく、笑顔あふれる未来のために	竹内麻子	ともにゃんこ
	文学講座	3	「若草物語」	白井澄子	
	子育て関連講座	2	子育てが楽になるコミュニケーション術	大久保庸子	
	託児付きマネー講座	2 (0)	子育て家庭のマネープラン	井上貴広	コロナウイルス感染症 対策のため中止
21/R3	幼い子のいる親のための教室	16	私らしく、子育てと暮らしを楽しむ	長澤恵美 他	クロワッサン
	託児付きマネー講座	2	子育て家庭のマネープラン	井上貴広	
	植物観察講座	2	まちの植物とたべる植物	鈴木 純	
	託児付き写真講座	2	撮ってうれしいスマホ写真	小櫻ようこ	

並木公民館保育室関連事業一覧

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
88/S63	母と子の暮らしをみつめる講座	19	乳幼児のいる暮らしをマップ(地図)に	及部克人 他	おーい
89/H1	母と子の暮らしをみつめる講座	21	マップで探ろうあそびの世界	及部克人 他	⇒おーい
90/H2	母と子の暮らしをみつめる講座	14	私らしく、あなたらしく共に生きる	駒野陽子 他	MOMO
91/H3	母と子の暮らしをみつめる講座	17	私らしく、あなたらしく共に生きる	駒野陽子 他	にこにこ島
92/H4	母と子の暮らしをみつめる講座	17	育児する日から社会をみつめて	陣内律子 他	らっこだっこ
93/H5	母と子の暮らしをみつめる講座	19	今、子どもを育てるときに	曾田薫子	H ₂ O
94/H6	母と子の暮らしをみつめる講座	19	今、子どもを育てるときに	曾田薫子	プラス
95/H7	母と子の暮らしをみつめる講座	18	母と子の豊かな暮らしにむけて	杉山由美子	コロボックル
96/H8	母と子の暮らしをみつめる講座	19	親も子どもも伸びやかに	杉山由美子	UNO
97/H9	母と子の教室	19	親も子どもも求める「いきいきした暮らし」	杉山由美子	CAM ²
98/H10	母と子の教室	19	地域で生きる～仲間とともに	杉山由美子	ひらけごま
99/H11	母と子の教室	19	母と子の暮らしをみつめる	武田京子	きらきら
00/H12	母と子の教室	18	子どもが育つ 自分をみつめる	鈴木由美子	げんき
01/H13	母と子の教室	19	子どもの成長・自分自身のこと	鈴木由美子	ポコアポコ
02/H14	幼い子のいる女性のための教室	19	暮らしをみつめて 子育て自分育て	鈴木由美子	Tea Time
03/H15	幼い子のいる女性のための教室	19	子どもとともに育ちあおう	永田陽子	バラダイス
04/H16	幼い子のいる女性のための教室	19	子どもとともに育ちあおう	永田陽子	ソレイユ
05/H17	幼い子のいる女性のための教室	19	子どもとともに育ちあおう	永田陽子	Ciao

年度	事業名	回数	テーマ	講師	結成グループ
06/H18	幼い子のいる女性のための教室	19	子どもとともに育ちあおう	濱田純子 他	ひだまりST
07/H19	幼い子のいる親のための教室	19	子育てを楽しむために	濱田純子 他	4season's
08/H20	幼い子のいる親のための教室	20	育ちあう子育て	松永静子 他	スマイル
09/H21	幼い子のいる親のための教室	19	子どもの成長をみつめる	猪熊弘子	ボワ・ママン
10/H22	幼い子のいる親のための教室	20	子どものいる暮らし 家族の中のわたし	猪熊弘子	ボコアボコ
	子どもの育ちを考える	8	子どものいる暮らし	平出美栄子 他	ソレイユ
11/H23	幼い子のいる親のための教室	20	子どものいる暮らし	猪熊弘子	こあらっこ
12/H24	幼い子のいる親のための教室	16	家族、地域、仲間とともに育児をする	猪熊弘子	クレヨン
13/H25	幼い子のいる親のための教室	16	子どもを育てること 家族、地域、仲間	生島典子	すくすく
14/H26	幼い子のいる親のための教室	13	子どものこと・自分のことを考える	生島典子	どんぐり
	写真講座	6	子どもを撮る	石田美菜子	
	料理講習会	5	料理の「こつ」伝授します	吉岡佐知子	
15/H27	幼い子のいる親のための教室	13	子どもと自分の笑顔のある暮らし	生島典子	たっち
	子育て関係講座	13	子どもの育ちを考える	平出美栄子 近藤陽子 他	おはな
	子育て応援講座	5	親もいっしょに新一年生	石川文子 他	
16/H28	幼い子のいる親のための教室	16	子どもと私が笑顔になる暮らし	生島典子	OKOMA
	子育てライフ講座	4	こころが軽くなる子育てのヒント	石川文子	ハッピー
17/H29	幼い子のいる親のための教室	15	子どもと私が笑顔になる暮らし	米原晶子	ゆるり
	環境について考える講座	5	ものづくりからエコを学ぼう	くにたちさくら組 他	
18/H30	幼い子のいる親のための教室	15	私らしく子育てを楽しもう	米原晶子	どんぐり2
	絵本セラピー講座	3	あなたのために読む絵本	勝田裕子	
19/R1	幼い子のいる親のための教室	15	私らしく笑顔で暮らす	山澤和子	和み
	託児付き講座	2	汗を流そうスポーツレク	東京都レクリエーション協会	
	グループ企画事業	1	子ども乗せ自転車講習 ～子どももママも安全に～	小金井警察署	
20/R2	幼い子のいる親のための教室	20	わたしの暮らし「ゆるデザイン」	山澤和子	きずなこころ
	実技講座	2	アロマとハーブ～日々の暮らしに潤いを～	小川高根	
	託児付き技術講座	2 (0)	自由に楽しむ切り絵	真鍋百萌	コロナウイルス感染症 対策のため中止
21/R3	幼い子のいる親のための教室	20	わたしの暮らし「ゆるデザイン」	山澤和子	
	子育て関連講座	10	自分のためのリフレッシュタイム	公民館活動 グループ	リフレッシュ
	託児付き技術講座	2	自由に楽しむ切り絵	真鍋百萌	

※ 20/R2の()内の数値は、実際に開催した事業の回数

3. 保育者賃金(予算)の推移

年度	総額(円)	単価+交通費(円)	備考
71/S46			保育開始(予算措置なしで保育実施)
72/S47	32,000		
73/S48	200,000		恋ヶ窪開館
74/S49	869,000		恋ヶ窪で保育開始
75/S50	1,391,000		光開館
76/S51	1,573,000		光で保育開始
77/S52	1,869,000	530	
78/S53	2,090,000	560	もとまち開館・保育開始
79/S54	2,360,000	570	
80/S55	3,347,000	590	
81/S56	3,712,000	620	
82/S57	3,800,000	640	
83/S58	3,831,000	640	12月議会で「自主グループの公民館保育室に関する陳情」採択
84/S59	3,831,000	640	
85/S60	4,463,000	640	
86/S61	4,824,000	640+30	交通費支給開始
87/S62	4,871,000	640+30	
88/S63	5,609,000	650+30	並木開館・保育開始
89/H1	6,265,000	670+30	
90/H2	7,181,000	720+50	五館の会が教育委員会に要望書提出
91/H3	8,566,000	800+50	
92/H4	9,605,000	900+60	
93/H5	10,121,000	900+60	
94/H6	10,121,000	900+60	
95/H7	9,110,000	900+60	五館の会が予算削減に対し6月市議会に陳情
96/H8	9,110,000	900+60	主催 5,700,000 自主 3,410,000
97/H9	7,430,000	900+60	主催 5,140,000 自主 2,290,000
98/H10	6,893,000	900+60	主催 4,878,000 自主 2,015,000
99/H11	6,893,000	900+60	主催 4,878,000 自主 2,015,000
00/H12	6,893,000	900+60	主催 4,878,000 自主 2,015,000
01/H13	6,893,000	900+60	主催 4,878,000 自主 2,015,000
02/H14	7,239,000	900+60	主催 4,478,000 自主 2,761,000
03/H15	7,514,000	900+60	主催 4,753,000 自主 2,761,000
04/H16	7,474,000	900+60	主催 5,090,000 自主 2,384,000
05/H17	7,767,000	900+60	主催 5,332,000 自主 2,435,000
06/H18	6,419,000	900+60	
07/H19	6,419,000	900+60	
08/H20	7,801,000	900+60	
09/H21	7,960,000	900+60	
10/H22	8,043,000	910+60	
11/H23	8,043,000	910+60	
12/H24	5,217,000	910+60	事業費50%削減に伴う減額
13/H25	4,206,000	910+60	
14/H26	4,254,000	930+60	
15/H27	4,297,000	無資格930/有資格1,000	交通費は保育者賃金(総額)の中に含む
16/H28	4,180,000	無資格930/有資格1,000	交通費は保育者賃金(総額)の中に含む
17/H29	4,428,000	無資格970/有資格1,050	交通費は保育者賃金(総額)の中に含む
18/H30	4,735,000	無資格1,000/有資格1,090	交通費は保育者賃金(総額)の中に含む
19/R1	4,944,000	無資格1,060/有資格1,150	交通費は保育者賃金(総額)の中に含む
20/R2	5,842,000	無資格1,060/有資格1,510	交通費は別途計上/保育者「時間額会計年度任用職員」となる
21/R3	5,816,000	無資格1,060/有資格1,510	交通費は別途計上

4. 保育室関係保存資料一覧(本多公民館所蔵)

年度	月	資料名称
77/S52		国分寺市立本多公民館保育室運営要綱(案)
	3	「母と子のひろば～7年のあゆみ」(本多公民館発行)
79/S54	9	陳情第14号 公民館保育に関する陳情
83/S58	12	自主グループの公民館保育室に関する陳情(四館自主グループ)
84/S59	3	三多摩の社会教育 「公民館保育室特集」
87/S62	6	第5回公民館のつどい
88/S63	5	自主グループ「はとぼっぼ」の保育室利用要求の経過
	9	並木公民館開館記念 保育室学習会資料「国分寺市の公民館保育のあゆみ」
89/H1	1	めるへん10年のあゆみ(ぐるうぷ・めるへん)
	4	「はとぼっぼ」への保育室貸出回答(光公民館)
	7	国分寺市公民館保育室の運営状況(もとまち公民館)
	11	保育室の貸し出しについての資料(開放)
	1	光公民館保育室の公費保育外利用規定
90/H2		国分寺市公民館保育室の会 予算要望書
91/H3	10	「めだか特集号」(もとまち公民館発行)
92/H4	3	国分寺市公民館保育室の20年
93/H5		要望書 国分寺公民館保育室の会
	9	私たちの公民館保育室5年のあゆみ(国分寺市立並木公民館発行)
95/H7	3	保育予算の復活をお願いします。(並木公民館保育室利用者一同)
	5	公民館保育室予算削に関する陳情(国分寺市公民館保育室五館の会)
	7	本多公民館保育室母の会学習資料
	9	公民館保育室予算に関する陳情(国分寺市公民館保育室五館の会)
	3	事務事業総点検報告書(国分寺市事務事業総点検推進委員会)
96/H8	4	「使用料等の見直しについて」第3次報告
		行政改革中間答申指摘事項に関する取組み状況
	11	国分寺市行政改革検討委員会中間答申に関する陳情
	12	国分寺市行政改革検討委員会(中間答申)/12月意見書
97/H9	7	国分寺市行政改革の推進について(答申)/11月要望書
98/H10	3	公民館体制検討委員会(報告)
01/H13	12	国分寺の公民館保育室30周年のつどい(資料、メッセージ集)
12/H24	3	保育室40周年のあゆみ
22/R4	3	公民館保育室活動50周年記念事業

* 『本多公民館保育室のあゆみ』 1～37(83/S58～20/R2)

5. 実行委員会の経過・参加者一覧

<実行委員会の経過>

日程	時間	会場	内容
2021年 2月12日(金)	午前10時～11時30分	本多 公民館	準備会 (コロナ感染症対策のため中止)
2021年 4月16日(金)	午前10時～11時30分	本多 公民館	準備会 企画内容の検討①
2021年 5月18日(火) 発信	—	書面開催	準備会 企画内容の検討② 広報について
2021年 6月11日(金)	午前10時30分～正午	本多 公民館	準備会 企画内容の検討③ 事業テーマ 広報について
2021年 7月9日(金)	午前10時30分～正午	本多 公民館	準備会 企画内容の検討④ 事業テーマ 広報について
2021年 9月10日(金)	午前10時30分～正午	本多 公民館	準備会から実行委員会へ変更 座談会の内容 事業名 記念誌について
2021年 10月8日(金)	午前10時30分～正午	本多 公民館	座談会 ポスター展示会 当日の運営 けやきの樹原稿の確認 記念誌について
2021年 11月12日(金)	午前10時30分～正午	本多 公民館	各館申込み状況 当日の役割分担 参加者アンケート 記録誌等の確認
2021年 12月04日(土)	午前10時00分～午後3時30分	本多 公民館	保育室活動50周年記念事業開催
2021年 12月17日(金)	午前10時30分～正午	本多 公民館	振り返り 記念誌編集について

<実行委員会参加者一覧>

50音順 / ◎=委員長

青柳和江・秋葉ひとみ・飯盛真由美・一ノ瀬智子・内田茉海・加藤奈央子
川端香織・佐藤由紀子・永島純子・西垣紀代子・蓮實麗子・浜中佳美
東 洋子・平田京子・宮鍋 緑・村野春香・◎百瀬裕美

各館担当職員11名

編集後記

公民館保育室50周年という節目の年を迎え、ここに記念誌を発刊できますことを心よりうれしく思います。

令和3(2021)年末に50周年記念事業を開催するにあたり、保育室に関わる皆様と職員とが集まって、準備会・実行委員会形式で内容を考える話し合いの場を設けました。しかし、まず2月中旬開催予定の第一回準備会が、新型コロナウイルス感染症の影響で2か月遅れの4月開催となり、さらに緊急事態宣言下では、対面形式の話し合いをやめ、やむを得ず書面開催の会議としたこともありました。

集まることにも気を遣う状況の中、実行委員長の百瀬さんをはじめとした保育室の先輩方、現役グループメンバー、保育者の皆様が、労をいとわず、職員と一緒に、12月4日の記念事業に向けて、企画発案やポスター制作等に取り組んでくださいました。

11月には国分寺駅ビル「セレオ国分寺」でポスター展と、子どもたちにおはなしを楽しんでもらうおはなしフェスタを実施しました。レストラン街での食事がてら、多くの人に国分寺市の保育室を知ってもらう良い機会になったと思います。

そして、いよいよ12月4日の本番を迎えました。事例発表では会場全体、熱心に聞き入っている様子が見られ、座談会では、まだまだ話し足りないというほど盛り上がったグループもあったようです。最後の山澤さんの講演会で、保育室活動への熱い想いは共通のものなのだと実感しました。

これからも、「仲間とともに自分も子育て」公民館保育室活動が続くよう、努めてまいります。

最後に当記念誌の編集にあたり、お忙しい中原稿をお寄せいただきました皆様方、記念誌作成に終始ご尽力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

国分寺市立公民館保育室活動50周年記念事業 子どもを預けるということ ～仲間とともに自分も子も育つ～

令和4(2022)年3月 発行

編集 保育室活動50周年記念事業実行委員会

発行 国分寺市立本多公民館

〒185-0011 国分寺市本多一丁目7番1号

TEL | (042)321-0085

メール | honda-kouminkan@city.kokubunji.tokyo.jp

国分寺市立恋ヶ窪公民館

〒185-0013 国分寺市西恋ヶ窪四丁目12番地8

TEL | (042)324-1926

メール | koigakubo-kouminkan@city.kokubunji.tokyo.jp

国分寺市立光公民館

〒185-0034 国分寺市光町三丁目13番地19

TEL | (042)576-3991

メール | hikari-kouminkan@city.kokubunji.tokyo.jp

国分寺市立もとまち公民館

〒185-0022 国分寺市東元町二丁目3番13号

TEL | (042)325-4221

メール | motomati-kouminkan@city.kokubunji.tokyo.jp

国分寺市立並木公民館

〒185-0005 国分寺市並木町二丁目12番地3

TEL | (042)321-9971

メール | namiki-kouminkan@city.kokubunji.tokyo.jp
